（大正十年十二月十四日第三種郵便物認可）
新京日日新聞
夕刊
昭和九年四月廿五日（水）
發行所 新京日日新聞社
新京東三條通四ノ一
電話（二）二五・二三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 谷啓二郎
本紙一部五錢　一ヶ月一圓
定價 郵税一ヶ月十五錢
廣告料 普通一行一圓三十錢
特別 二圓五十錢

我が立場闡明は確固として不動だ
政治色彩を帶びぬものは歡迎
外相英照會に備ふ

（東京國通）英國政府は十七日の外務當局談に關し駐日大使リンドレイ氏をして我意向を確めしめることになつたと外電で報道してゐるが、廣田外相は右照會があれば我方針を闡明し當局談の文字を充分補足說明する筈で我當局の方針は大体左の如くである

一、我が外交方針は去る一月廿三日廣田外相が爲した外交方針演說内容に充分盡してゐる今後共此方針は不變である

一、對支政策に在つては友邦支那と共に東亞諸國の平和に努める事を以て精神とし共存共榮の實を擧げる事が世界の平和に貢献するものである

一、從つて帝國政府今回の非公式聲明は此趣旨を擴大したる當然の歸結であつて、支那の門戶開放、機會均等、領土保全に何等抵觸せざるものである

一、帝國政府としては列國の支那に對する援助即ち團匪賠償金を以て其文化事業を興し又支那と經濟的貿易上より交涉するが如きは其政治的色彩を帶びざる限り喜んで之を歡迎するものである

一、併しながら、最近支那に對して行はれる財政的或は技術的援助はやゝもすれば政治的、意味を帶び來る傾向あるが東亞の平和維持に重大關心と責任を有する我國は斯る傾向に對しては充分之を監視する必要がある

廣田外相　外國使臣に詳細說明

（東京國通）廣田外相は十七日の對支政策聲明の眞意に關し東京駐在の列國使臣にも機會ある每に說明する方針であり、既に非公式に照會して來たユレニエフ大使、蔣作賓支那公使を始め其の他數氏には委曲を盡して率直に說明してゐる、而して廣田外相が右說明中最も强調してゐる點は

一、日本の東亞に於ける特殊的立場及び責任は日淸、日露兩戰爭以來幾多の歷史的事實に依つて實證され居ること

一、今次の聲明はこの特殊的立場を列國に再認識を促したもので何等從來の政策乃至言動と異なるものでない

一、最近列國の對支武器輸出其の他政治的援助の中東亞全局の上から見て我をして見過し得ぬものあり、今次の聲明で之を指摘して列國の注意を喚起した事等の點で之以外には對支侵略門戶閉鎖とか九ヶ國條約無視等の他意なき事も合せ力說既に在京外交團の多くは廣田外相の說明で納得してゐると見られてゐる

平和的我外交を支持
林陸相語る

（東京國通）廿四日閣議後林陸相は語る

外務省の非公式聲明問題はこの前の閣議で話し合つたので今日は別に話はなかつた、大分列國に反響を起したので外務省が更に聲明を發するとの話もあるが、陸軍として關知する限りではない、自分としては列國のどれも特別に敵に廻す必要はなく平和的外交をやつて行くのを望んで居る、この意味で廣田外相と協力して我が外交方針を極力支持する考である、但しこの場合と雖も相手國にして若し不法な態度があるならば、斷乎たるべきは勿論で、その準備も整へつつある、三大政策に就ては陸軍としては國防の見地から今後如何にするかに就き鋭意研究中であるが、內容は未だ言明出來ない國防は豫算教育思想稅制等の諸問題と密接不可分の關係にあり、農村問題、勞働者の賃銀問題に及ぶ譯だが、純粹國防の見地からすれば國家總動員といふことを考へて刻下の問題を解決するのが至當であるが、自分は各省大臣と各意見を交換するの必要を認めるので差當り最も關係の深い外務大臣、拓務大臣から初めて個々面接をなし陸軍案決定の參考とし更に陸軍の意向も傳へる考へだ

『反響に善處』
外相閣議で說明

（東京國通）廣田外相は廿四日の閣議に於て十七日の外務當局談に關する經緯を說明し右當局談に就ては各方面に種々誤解があるが之を一掃のため在外使臣に對し萬全の手配をなし、遺憾なきを期し目下之が努力中である旨を言明するところあつた

眞意回答ある　まで靜觀
英紙の論調

（ロンドン廿四日發國通）廿三日英國下院でサイモン外相は、日本の對支政策闡明に關し駐日大使を通して日本政府に照會を發した旨言明したが右に關し廿四日のデイリー、テレグラフ紙は左の如く報じてゐるサイモン外相は今回日本政府が非公式に發表した對支政策に關し、リンドレー駐日大使を通じ日本外務當局に友誼的照會をなす旨訓令した、故にこれに對する回答が到着し、今回の聲明が果して種々報道された如き極端なものなるや否やが明確にされる迄は英國政府は當分靜觀的態度をとるであらう、支那に於て英國が有する主要關心は英國の對支通商門戶開放問題である　英國はこの點を明確にし、これに對する日本よりの保證を得る事を求めんとするものであるが、英國はこの點に關し滿足すべき結果を得られることを希望して止まぬものである

歸滿を待ちわびる
鄭特使一行
船中はさながらの滿洲デー

（うすりゐ丸國通）鄭特使一行を乘せた『うすりゐ』丸は平安なる航海を續け五時玄海を航行中である、同船には今回宮內府入りの入江貫一氏其他田邊參議、古田司法部總務司長等が同船、鄭總理の榮ある歸朝を祝し午餐のテーブルは宛ら滿洲國デーの感がある

鄭特使は廿六日大連入港に際し新京及び天津より一戶をあげて出迎へるとの電報を受けて非常に喜び、久方振りの一族團欒の集ひを樂しみ一月振りに見る懷しの故國滿洲の刻々と近付くのを心待ちにしてゐる

收穫豫想の調査打合會
日滿關係各機關出席

滿洲に於ける農產物の收穫高豫想調査は從來滿鐵で行つてゐたが昨年度より滿洲國實業部との間に農產物收穫豫想高調査聯合會が組織され第一回調査を行つたところ各地に於ける調査は滿洲事變、水災等のため支障を來しその結果特に北滿に於ける調査の結果は一、六六七、〇〇〇キロトンの誤差を生じ特產界に對しても甚大なショックを與へた之がため同聯合會では昨年度に於ける調査の不首尾に鑑み今年の第二回調査こそは完璧を期すべく十九、二十、二十一の三日間に亘り新京自治會舘會議室で「康德元年度全滿農產物收穫高豫想調査打合せ會議」を開催松島實業部農務司長を議長とし中心機關たる滿鐵產業調査係ハルビン事務所調査係滿洲國實業部農務科を始め鐵路總局地方課、滿鐵農務課、鐵道部混保係各試作場、地方事務所等の關係者全部參集、先づ滿鐵、滿洲國側より夫々昨年度に於ける農產物收穫高豫想調査の成績發表ありこれを基礎として本年度調査の完璧を期すべく左の事項を協議した

△滿洲國

一、滿洲農產物收穫高豫想調査聯合會最極書の改定に關する事項（康德元年五月より實施すべき本調査實施上の各構成機關との連絡調査方法並事業及び經費の分擔の協定に關する事項）

一、調査施行範圍に關する事項（滿洲帝國全版圖に及ぶ案）

一、調査記入表樣式に關する事項

一、調査擔當縣官公吏に指示すべき注意事項（訓令附屬の要項案）

一、實地踏査に於ける調査員の調査必須項目並方法等の協定

一、參集者の提案事項

イ、滿洲農產物收穫高豫想調査聯合會組織變更に關する件

ロ、調査施行方法

ハ、調査經費負擔に關する事項

尙右の結果調査區域を奉天省吉林省黑龍江省、興安省これに加へて滿鐵では從來行つて居なかつた熱河省の一部をもこれが範圍に含むこととなりその調査方法は滿洲國側は各縣に指令を發し調査方法を提出せしめ又滿鐵では係員を選定して實地踏査を行ふ筈である

政黨政治を目指し
政友は邁進
現內閣の將來は益す暗澹

（東京國通）政友會では政局變動の機宜の措置を誤たぬ樣準備をしてゐるが、政局の推移に對し黨首腦部は左の通りの理由で政黨政治の復活に對し最善を盡してゐる

一、現內閣は居据りと決定し三大政策等と稱して兩黨總裁に政援を求めんとする等更生策に努力し居るが、國民は最早これ以上現內閣に期待せず、政友會は是々非々主義で絕緣同樣な嚴正なる態度に歸へる、更に台銀疑獄事件の發展如何では到底要如し得ず命數幾何もないと觀るもの

一、政黨內閣は不死身だから齋藤首相自身が引責辭任する事もない某事件も上層部に波及せぬ樣手段を講じて居り今日の程度で喰止め得やう、齋藤內閣も政民の支援が無いとわかれば强いて提携せず、文相問題も同樣と觀られ、このまゝ議會に臨み政黨と一戰を交ふるの覺悟かも知れずと觀られるとの二樣の觀測があるが、政友會としては最後の場合を覺悟して全國を遊說し政黨政治の復活に對し輿論を喚起し來議會には解散覺悟で不信任案提示の準備を進めて居る

民政黨　善處の準備を進める

（東京國通）政局も表面は小康を呈してゐるが、裏面に於ける暗流は漸次險惡に向ひ、民政黨では成行きに愼重の注意を拂つてゐるが、政民聯繫問題の進行等よりして國勢擔當の能力無きを暴露し居る現內閣との絕緣の機會が早めら（れ）徐ろに政局の將來に處する準備を進めて居る模樣である

外交部黑河辦事所事務開始

外交部駐黑辦事處主任者何裕援（?）は吉林より飛行機にて黑河に到着し即日より辦事處の事務を開始した

八並小原兩氏渡滿

（東京國通）定例閣議は二十四日午前十時總理官邸に後藤農相を除く全閣僚出席開會されたが、小山法相より八並司法省政務次官及び小原東京控訴院長の渡滿は滿洲國の司法制度の視察にあり他意なしと說明し正午散會した

北鐵滿ソ交涉は廿六日開始と決定
先づ兩者で第一次中間會商

（東京國通）駐日ソ聯大使ユレニエフ氏は廿四日午後三時半外務省に廣田外相を訪問し本國政府の訓令に接したので來る廿六日交涉を開始したいと申出でた、斯くて北鐵交涉は同日大橋滿洲國外交部次長とソ聯側カズロフスキー代表により再開後の第一次中間會商を行ふこととなつた

ソ聯カ中委議長　極東軍備を視察

（滿洲里國通）ソ聯中央執行委員會議長カリニン氏は十二名の軍事專門家と共に突如モスクワを發しシベリア線でハバロフスクに到着十六日より五日間極東軍司令部に於いて協議したが二十四日はブリユーヘル將軍イタツプ將軍とウスリー線スパスクイマン、ニコリスク、ウラジボ等の陣地要塞視察に向つた

新京駐劄の步兵部隊主力
二十八日早朝來京

二十八日午前四時三十五分および同日午前五時四十五分の二回に亘つて新京駐劄の步兵第〇〇〇隊主力〇〇〇〇名來京、西廣場、商業、公學校に分宿することになつた、多數一般市民の盛大な歡迎を希望する

熙財政部大臣　吉林へ

熙財政部大臣は二十五日午後零時三十分發列車で吉林へ出發した

反中央漢字紙振報社
藍衣社の爆彈に見舞はる

（天津二十五日發國通）二十四日午後十時天津日租界漢字紙振報社三階より轟然たる音響と共に爆彈炸裂、四階の屋根をメチヤメチヤにした、幸ひ社員歸宅後で負傷者はなかつたが同社は曾て蔣介石と共に革命運動に參加したが其後猛烈な反中央派となつた白楡垣の經營するところで連日痛烈な中央攻擊記事を連載してゐたことゝて藍衣社一味の社員の留守中爆彈を仕掛けたものと見られてゐる

經濟參謀本部設置
政策遂行の爲
三大政策の具体化に各省大童

（東京國通）政府が去る十日の閣議に於て今後主力を注ぐべき政策とした三大政策の具体化に關しては政府に於て種々考究中であるが、財政稅制の整理刷新に關しては稅制改正準備委員會及び農村負擔調査會に於て成案を得ることに努め、又教育の革新及び思想對策の確立については文部省內の教育調査會並に思想對策委員會に於て調査研究し、更に農村對策の樹立に關しては目下旅行中の後藤農相の歸京を待つて實現さるべく根本的に米穀對策調査會等に於て調査研究する方針の如くであるが、最近閣內に全般的な財政再建策として經濟參謀本部設置の議が起り既に資源局並ひに法制局等に於てこれが具体化に就き愼重審議中であるが右は平時自由放任となつて居る各種產業の統制を强化し一旦緩急あらば國家總動員の重要なる役割を演ずるもので各省に經濟參謀本部設置の議が擡頭した事は注目される事である

米聯合艦隊
パナマ運河廿四時間通過開始

（バルボア二十四日發國通）聯合艦隊司令長官セラーズ提督が緊急の事態に應ずる試練として二十四時間以內に全艦隊のパナマ運河通過を命令したことは米國のみならず世界の耳目を聳動した處であるが同聯合艦隊百十一隻は二十三日愈々米海軍始まつて以來の劃期的大計畫に着手したが通過を開始したこの日パナマ運河五十マイル一帶の地は攻防戰の渦中に投ぜられ乘組員士下四萬五千の緊張は勇猛さらなり、兩岸一帶の空氣も異常に緊張を示し勿論一般商船の如きは一切の航行停止を命ぜられ宛ら戰時狀態の觀を呈して居る

王馬政局長
在京記者團招待

全滿洲國に馬事思想普及大運動開始の折柄、馬政局長王靜修氏は廿四日午後六時よりヤマトホテルに於て在京記者團を招待、現下の馬政其他馬事一般につき主客歡談盛會裡に同八時散會した

鴨渾警備船
匪團を擊退す

（安東國通）筏の流下期に入つた所最近上流で是等の筏が頻々として匪賊に襲はれるので、鴨渾水上警察署では警戒に努めてゐるが、二十三日午前十一時三十分日系巡官十五名の搭乘せる警備船は渾江中、古馬嶺に於て優秀なる匪團と遭遇し交戰二十分にしてこれを擊退した、此戰鬪に於て小野寺巡官及滿人巡官一名負傷し目下平北道立病院に收容手當中

その日く

□

鄭總理、一月ぶりで近く歸る　心から御苦勞さまといふ言葉を捧げたい

□

北鐵交涉、いよいよ廿六日再開、纏るか否かは兩者誠意の持ち合せから

□

西田修平君の極東大會不參加に次いで明大五選手も選手辭退、更に拳鬪永松選手も辭退

日本体協にせよ、滿洲國体協にせよ選手を度外したダラ幹の存在がこの不快な結末へ導くのである

□

練習飛行中機体に故障を起し不幸墜落重傷を負ふた足立曹長遂に逝く、冥福を祈らん

人事往來

▲笠井一等軍醫正（第〇〇團軍醫部長）二十四日午後四時三十分發四平街へ

▲中屋和郎氏（大使舘一等書記官）二十五日午前七時着大連から

▲高橋中將（豫備後）同上

▲藤井遞信局長（關東廳）同上

▲ジヨンリビーカーテス氏、（東京ナショナル銀行理事）二十五日午前七時安東經由來京同日午前八時三十分發哈市へ

▲ボイス、シー、ハート氏、（同上）同上

▲楊崇武氏（民政部編利部長）二十五日午前八時三十八分發哈市へ

▲池谷六太郎氏（商業學校教諭）二十五日午前九時發鞍山中學校へ赴任

▲野田清一郎氏（撫順工科大學々長）二十四日午後七時三十分着大連からヤマトホテル投宿

▲アプリ氏（佛國人滿洲視察）二十四日午後三時二十五分着哈市からヤマトホテル投宿

團体

▲香川師範學生六十五名二十八日午前六時來京富士屋投宿二十九日午前十一時三十分發奉天へ

▲宮崎縣延岡中學生五十五名二十八日午後一時五十五分着京北滿旅舘投宿離京日未定

▲旭川驛主催團二十五名三十日午前六時來京同日午前時三十分發吉林へ

▲奈良師範學生九十五名三十日午後六時五十分來京協和旅舘投宿五月一日午後四時三十分發南下

日滿悲曲
生命線を行く
（築上演上映）
國友雄吉
（荒川芳三郎畫）
（百五十三）

突然お暇を

お愛は突然、千瀬子夫人の室へ呼び付けられた。

それは彼女が、茂彦の事で楠と爭つたその翌朝のことであつた。

「お愛！　少し話があります。マア其處へお坐り！」

お愛が、顔を出すが早いか、夫人は、もう待ち構へてゐたやうな口吻であつた。

その顔！　その顔！「これは只事で無い」と、お愛は感付いた。

「なにか、御用でございませうか――？」

お愛は、つとめて、平氣で居たかつたのである。けれど、到底、そんな氣持では居られなかつた。

お愛が坐ると、楠も亦奧から現はれた。そして、險しい眼で、お愛を、キツト睨まへた。

「やつぱり、昨日のことなのだ」と、お愛は直覺した。

「お愛！　氣の毒だが、今日限りおまへに暇を出しま

すそのつもりで――」

夫人は、眉一つ動かさないで、厳かに言ひ渡した。

それを聞いたゞけで、お愛はもう胸が一ぱいになつて來た。そして奉公人の弱味といふことを、ツクヅク考へずには居られなかつた。

「なぜお暇になるのでございませう？」

彼女の、ふるへる聲が、さらに問ひ返した。

「なぜも、何もありません。當家の都合です！」

夫人は、まるで命令的であつた。

すると楠が横から口を出した。

「それとも、理由が聞きたければお母さまに代つて、あたしが言つてあげても宜いわ。おまへ、昨日のこと、よもや、お忘れではないだらうね」

「はい、能く存じて居ります。それが、どうか致したのでございませうか」

昨日は、自分から暇を取らうとした彼女だが、反對に暇を出すといはれると、甘んじて、それに服從する氣にはなれなかつた。

「奉公人のくせに、主人に反抗するなんて、生意氣とは、思はないの？」

楠は、叱るやうな口調だつた。

「いくら御主人でも、あまり我儘を遊ばしては！」

「なにが、我儘なの――？　え、あたしが、いつ我儘をしたとお言ひなの。さ、はつきり言つてごらん！」

「宜いから、おまへは、默つてお出で！」

夫人は、楠を制した。

「お愛、おまへは奉公人の分際といふことを、お忘れでないだらうね。それだつたら、主人のあたしたちのすることに、なぜ、彼是と立入つた批評をするのです？」

「奥さま。いつたいそれは、なんのことでございませう。わたくし一向に、そんな覺えはございません」

「いゝえ、知らないとは言はせませんよ。あたし達が、茂彦を虐待すると、お言ひだつたさうだが、あたし達、いつ、あの子を虐待しました。若し誤つて、そんな噂が世間に漏れたらどうします。人を誣いるにも、程があります」

よくも、あんな涼しい顔をして「いつ、虐待しました」なんて、あんなことが言はれたものだと、お愛は寧ろ、夫人の、得手勝手に呆れ返つた。

「奥さま、生意氣だと、お叱りをうけるかも知りませぬが、わたくし、少し言はせていただきます。――坊ちやんを、虐待なさるなぞと、そんなこと、決して申しはいたしません。只、坊ちやんが、あまりに、お可哀想だとは、申しました」

「なぜ、茂彦がそんなに可哀想なの？　それを言つてごらん！」

「……へないでせう。それが、あたし達が、虐待するといふのと、結局同じ意味に取れるぢやないの――？」

盛大な祭典に續き 各奉納の催し

招魂祭當日の新京神社で 式次第その他決る

來る二十七日午前十時から新京神社で盛大に執行される招魂祭の式次第その他について二十四日午後四時から新京神社で各祭典委員集合最後の打合せを行つたが、その結果式次第その他は左の通り決定された

一、祭主軍司令官以下所定の席に着く（九時四十分）
二、修祓
三、齋主招魂詞
四、獻饌
五、齋主祝詞
六、軍司令官始め海軍部司令官滿鐵代表、滿洲國代表の順序で祭文
七、齋主玉串を奉り拜禮
八、祭主軍司令官を始め遺族代表、陸軍、海軍、外務省關東廳、滿鐵、滿洲國政府官民、在郷軍人の各代表並に祭典委員長の順序で同上
九、齋主招魂詞

かくて所要時間約一時間にして終る豫定だが、この間各學校生徒兒童、各種團体、その他一般多數の參拜があり午後一時から劍道、相撲、弓術、活動寫眞など奉納の催しがあるはずで當日は神社を中心に稀に見る賑ひを見せるであらう

新京署で 昨日一齊に交通取締

新京署保安係では二十四日午後三時から同五時まで非番員を召集し全市に亙つて交通取締をなした、違反者は十一名いづれも自動車運轉手で無免許四件、正規の手續を怠つてゐるもの四件、スピード違反二件、無檢査自動車一件である、これ等違反者は二十五日新京署に召致し嚴重説諭をなし違反重なる者に對しては處罰をなすことになつた

天長節當日 觀兵式の實況放送

新京放送局では來る二十九日天長節觀兵式が中央通りで擧行されるので新京神社前菊地工務所屋上から觀兵式の實況を放送すると、なほ關東軍司令官が受禮者となるのは事變後最初である

隣邦の音樂も放送する

新京放送局では二十九日の天長節祝日には奉祝放送として午後一時からマニラ、ジヤバ、シヤムなどの各國特色ある音樂を約十五分づゝの中繼放送をなし、新京放送局からは午後一時五十分から『上天台』の滿洲音樂を放送する豫定

廿七日に 早慶戰中繼放送

新京放送局では二十二、三の兩日六大學リーグ戰法明戰の實況中繼放送を試み二十三日の如きは異常な好成績をみたが、二十七日午後零時五十分から三時十分まで早慶第一回戰の中繼放送をなす予定

天長節拜賀式 午前九時三十分から

來る二十九日の天長節當日一般拜賀は午前九時三十分より同十時三十分迄の誤につき訂正

石に刻む

菱刈大將の筆になる『新京神社』の社標は目下優秀な石工によつてコツコツと刻まれてゐる、來る五月十五日の春季例祭までには是非間に合せやうといふのである

馬をまく男 遂に捕はる

既報、二十二日午後零時ごろ三笠町二丁目料亭三浦屋に投宿遊興費三十一圓四十錢を踏倒し逃走した入船町四丁目住吉鐵工所元職工梶原富藏（三七）につき新京署で搜査中のところ、二十四日午後一時ごろ東一條通奴壽司に現はれ、午後七時ごろまでに二十九圓七十錢を遊興し自宅で支拂ふと稱し同家女給、コックを連れ市内を約一時間に亙つて歩き浪速町二丁目附近で姿を消したので新京署に屆出で搜査の結果、犯人が城内五馬路の某方に潜伏してゐるを井上、谷本兩刑事が探知し二十五日午前五時寢込みを襲ひ逮捕した

街の日記

高木南峰氏 富枝孃と結婚

雜誌滿洲改造社々長南峰高木翔之助氏はさきに内地に歸省中良緣あつて結婚し、東京で華燭の典をあげたが二十四日午後六時から大陸春に友人知己多數を招いて盛大な披露宴を催した宴酣なるころ地方委員加藤金保氏起つて新郎新婦を紹介して祝辭に代へ和氣靄々裡に同八時すぎ散會した、なほ新婦富枝孃は東京青山女學院出身の才媛で趣味に富み若く美しく淑やかな近代的女性である

落しもの

▲尾上町五丁目二番地龜岡米松氏は二十四日午前十時ごろ新京郵便局で黒皮製財布一個在中現金八十七錢證明書を落した
▲富士町三丁目十三番地富士屋タクシー富士藏一氏は廿五日午前七時ごろ自宅から住吉町に行く途中トラックタイヤ一個を落した
▲富士町三丁目十番地高橋勝治氏は二十四日午後十時ごろ長春座から梅月に行き遊興し支拂に際し黒皮製二ツ折財布一個在中二百四十圓を失つてゐるを發見した
▲北門街永衡門内大興公司宿舍大崎定雄氏は二十四日午前十時ごろ自宅から寛城子に行き新京神社で下車の際女用赤地ハンドバック一個在中現金十七圓を落した

盜難屆

▲吉野町二丁目十番地甘栗太郎こと西郷正憲氏は二十四日午前三時から同八時の間同店倉庫内でリンゴ三箱時價十三圓七十錢を何者かに窃取された
▲曙町二丁目十二番地飲食店更科こと竹本スナヲさん所有の自轉車一台を二十四日午後十時から同十一時三十分の間に自宅前で窃取された
▲彌生町一丁目郵便局官舍豐崎種喜氏方岡野新吉氏所有自轉車一台を二十四日午後四時三十分ごろ吉野町二丁目七番地前で窃取された

けふの銀相場

鈔票對金票　一三、四〇
現大洋對金票　一〇六、九三
國幣對金票　一〇五、三一
現大洋對鈔票　九四、四〇

牛心台普通學校へ 滿人兒童入學

教員一人分の給料を寄附 日語講習熱昂まる

牛心台附近居住朝鮮農民の總意により四月二日開校した牛心台普通學校は開校當日朝鮮人子弟四十五名の外、滿人男女兒九名を算したが、同地居住の滿人間においては子弟教育上日語修得の必要を痛感しこれに入學希望するもの三十數名に達し居る狀況に鑑み、四月五日同地滿人居住者は同校に寄附の名目をもつて教員一名の給料を負擔するとゝもに朝鮮人同樣の授業料を醵出すべき旨申出でたるにつき朝鮮人側當時者においてもこれを諒とし、同地滿人代表者並にこれに入學希望の子弟等は近く縣公署に出頭し教育局の諒解を求むる意嚮の由である

長崎觀光博に 滿洲國紹介 寫眞を出品

情報處では目下長崎市に開催中の長崎觀光博覽會に滿洲國實狀紹介の目的で熱河、ホロンバイル其他國内風俗、並に各建設狀況の引き延ばし寫眞約五十種を出品する事となり本日夫々發送の手續を取つた

大連へのお花見 申込み者殺到 なるべく早く申込み下さい

新京驛、ジヤパンツーリストビユーロー新京案内所主催、本社後援の五月五日大連星ヶ浦櫻花觀賞團体募集計劃が、發表されるや驛、ビユーローに新京、四平街、公主嶺、吉林方面からの申込みが殺到既に二十數名に達し毎日、五、六名の電話問ひ合せがあり、中には滿人の問ひ合せまであつて非常な人氣である、ビユーロー、驛では宣傳の徹底を期するためパンフレットをとりあへず五千枚印刷して市内に撒き、別に櫻花徽章、食券福引券、酒肴券、辨當などの引換券を百組作つて驛、ビユーローで五十組づゝ手分けして勸誘に盡力してゐる、なほ詳細は本紙四月二十日附朝刊三面に記載あり、ビユーロー（三三九三）新京驛（二〇一六）に問ひ合せのこと

ガス心中の少年は絶命

市内入船町二丁目十九番地大倉組出張所員渡邊喜三郎氏妻キミ（四二）、同長男誠三（一三）のガス心中未遂事件は既報の如くであるが、兩人は滿鐵病院に收容應急手當中であつたが長男誠三君は二十四日午後十時絶命した、妻キミさんは目下危篤である

通俗學術講演會 講師變更

既報、全滿十五學界聯合會主催の第三回通俗學術大講演會は二十六日午後七時から約二時間に亙つて新京高等女學校で開催されるが本紙二十五日附朝刊に「講師と演題」として滿洲の農業と題して實業部農林司長松島鑑とあるは都合により「滿洲農業の地位と將來」と題して公主嶺農事試驗場の中本保三氏に變更された

働くが厭さに 死を急ぐ

二十四日午後三時頃、市内南廣場の支那風呂共和泉で浴客の邦人が苦悶し居るを發見した浴場のボーイが主人に告げ其筋に急報、係官出張 服毒の疑ひがあるので直ちに日本橋通り濱田醫院に送り同醫師が胃洗滌を行ひカルモチンを多量に嚥んで居ることが判り應急手當を施し經過は良好、取調べの結果原籍岡山縣津山市院之庄うまれ當時新京商埠地七馬路八號吉丸下宿方黒田淸（二四）と云ひ國都建設局の現場に使役されてゐたが生來の怠け者で去る三月一日馘になつたのを友人のとりなしで再び使つて貰ふやうになつたがどこまでも怠け癖がぬけず二十一日木小屋の中で晝寢してゐるを監督に發見され大眼玉を喰つた上解雇されてしまひ途方に暮れ、死を企て市内東二條通りの西澤藥房でカルモチンを購入、共和泉を死場所にえらんだものである

大阪に於ける 帝人事件取調狀況

〔大阪國通〕去る四月六日警視廳から護送された帝國人絹の高木社長、岡崎重役の＝身柄＝を受取つた大阪府刑事課では右兩氏の他駒井同社庶務課長を召喚一應の取調べの後同日高木社長のみを留置、岡崎、駒井の兩氏は一旦歸宅を許したが、越へて四月九日京都市左京區山中飛鳥井町一三帝人元專務内海靜太郎氏を召喚、參考人として取調べの上歸宅を許し岡崎重役は同日再び召喚の上留置された、更に十日大阪市東區安土町洋反物大問屋田村駒商店の若主人田村駒次郎氏及び府下豐能郡豐中町吉野一番地大正信託常務取締役廣瀬安太郎兩氏を參考人として召喚、帝人株割當に關し當時の事情を聽取した一方さきに帝人本社で押收した多數の證據書類のうち株式臺帳その他特に重大關係あるものゝみを選び出して取りまとめ右整理の一段落を待つて西下取調に當つて居た東京地方裁判所の枇杷田、長尾兩檢事は十五日夜大阪發歸京した續いて警視廳の高山警部一行は多數の證據書類を取まとめ留置中の高木、岡崎兩氏を＝護送＝しつゝ十六日午後九時大阪發十七日午前東京驛着歸京、かくて大阪に於ける同事件は一段落を告げた

八氏遂に 强制收容

〔大阪國通〕帝人事件取調べは俄然進展して十八日帝人取締役永野護、同社監査役河合良成、臺銀理事柳田直吉、臺銀整理部長越藤恒吉、旭石油社長長崎英造、ブローカー村地久次郎の六氏を拘引した東京地方檢事局は岩村檢事正、黒田主任檢事指揮の下に枇杷田、長尾、八木、堀（眞）久保内各檢事が取調を行つた結果、前記のうち河合、柳田、越藤、長崎の四氏及び去る十七日大阪より護送警視廳に留置中であつた帝人社長高木復亭、同取締役岡崎旭兩氏は十九日朝市ケ谷刑務所に强制收容され、續いて永野、村地の兩氏も同日夕刻收容された、尚右の留置收容者の取調一段落を俟つて近く更に第三段の大檢擧を見る模樣であるが、臺銀頭取島田茂氏の身邊は最も危ぶまれて居る

東洋婦人會 鄭總理令息や潤祺夫人招待

〔東京國通〕こずゑの葉櫻に小雨しとしとゝ降りそゝぐ廿四日正午から東洋婦人會から滯京中の鄭總理令息夫妻と潤祺夫人を主賓として芝公園紅葉館で午餐會を開いた、主人役の菱刈、荒木兩大將夫人外廿餘名の會員の歡待に春雨煙る庭内の新緑を賞美、餘興の日本舞踊に興をつくし午後三時閉會した

鮮滿農民の抗爭激化に

關係當局者對策協議

〔奉天國通〕鮮滿農民の紛爭は最近各地に起り牛心臺、鐵匠屯、渾河事件等頻々と勃發しこのまま放任せば由々しき民族抗爭を惹起する惧れがあるので之を未然に防止すべき機關設立の必要が叫ばれ先般來奉天實業廳で對策を協議中であつたが二十三日午後一時より日滿機關代表者憲兵隊菊池少佐、協和會事務長岩田總領事官補等參集し正式に水利紛爭調停委員會を設立し右委員會に於て大綱左の如く方針を決定した

一、鮮滿農民の福利增進と共存共榮を圖る
一、水利紛爭を惹起せる場合之を地方的に解決す
一、局地的解決のため各縣に調停委員會支部を設置する

等で省公署、總領事館及び憲兵隊よりは夫々出先き地方官憲にその旨を直ちに訓令するところあつた

極東大會へ參加の 日本陣崩壞か

明治大學五選手も辭退通告

〔東京國通〕明治大學からの極東大會派遣選手名島忠雄、朝隈善郎、河津憲太郎、片岡寅次郎、石原田愿の五名の選手も辭退を表明マニラ行きの中止を申出でた

吉住猛選手も 不參加

〔東京國通〕明治大學より極東大會への派遣選手のマニラ行き中止は既報の六名の外に陸上競技の吉住猛選手が更に加はつて合計七名が不參加を決議した

永松選手も 參加辭退

〔東京國通〕西田選手の極東大會不參加聲明は多數選手に多大の衝突を與へたが、二十四日朝俄然拳鬪ライト級選手永松英吉（明大）君は大日本學生聯盟森總務委員長に參加辭退の意を表明し、他の派遣選手もこれに續いて追隨の模樣で、我オリムピック遠征陣は極度の動搖を來してゐるが永松選手は大日本學生聯盟本部で決然として左の如く語つた

友邦滿洲國選手諸君の立場を老へ豫ねて到底參加出來ないと考へて居ました、然し私一人で決然たる行動をとれなかつたが、今朝西田選手の斷乎たる進退に感激して斷然參加辭退を決意した譯です

注目の的（九） 大新京の景氣打診

生れたばかりの 新京三業組合 （下）

將來は東京での新橋は請合

三業組合長　吉村元七郎

▽……△

現在私の組合もこの藝妓の品性と藝の向上を計るため約五萬圓をもつて二階建の（下は券番事務所二階は演舞場）建築にとりかゝつている次第である

なほ梅ヶ枝町、永樂町は將來新京の一等地となるもので隨つて料亭の資格も一流となり東京でいへば新橋に相當するものになると思つている、事實において附屬地の料亭の如きは支那家屋を改造したものに過ぎないが、こちらの家屋は根本に於て建築樣式を異にしている、

▽……△

一部においてはダイヤ街の料亭は高いとの批評もされているようであるがしかし開業に至るまで一軒に對して少くも十萬圓を投資し設備器具すべてに考慮をめぐらしているものであつて座敷の如きもその氣分味ひ等の點において他の料亭と大なる相違があるもので、これ等の諸點からしても一割ぐらい高いとてそれは當然のことであらうと思ふ、客筋の如きもいわゆる紳士紳商でダイヤ街料亭の前途は將來益々有利に轉回するものでありすこしも悲觀をする必要を認めないまして現在の景氣は大正七、八年頃より打續く不景氣のためそのどん底まで來たものでこれ以上は決して悪くなるものでない、それに滿洲國は建設の途上にあるものでこれが國礎も確立すればますます好轉するものと考へているもので、現在は好景氣に向はんとしつゝあるあがきであつて康德五、六年頃がその最高潮であらうかくの如き情勢にあるからしてこゝ暫くは何處までも强氣一點張りの時だと思ふ、復興一段落の後も決して悲觀の必要はない、なほ今後の營業方針についての私の考へは、薄利多賣主義をとることが最も必要であらうと考へるものである、

×

よく業者において物價高騰のため賣上げに比し利益がないといふ聲を聞くが私をしていはしむるなら物價が高いからこの莫大な賣上げがあるのだといひたいのである

陸士視察團 三十日奉天着

〔奉天國通〕陸軍士官學校學生卅名より成る滿洲視察團は同校々長末松茂治中將引率のもとに來る卅日來奉する事となつた奉天では日露戰役史蹟及び滿洲事變戰蹟を見學する事になつてゐるが、右日露戰役史蹟の説明役としては坪川奉天省教育廳總務科長が又北大營の説明役としては當時の實戰參加將校が當る筈である

然るに日露戰役史蹟中大山元帥が南大門より奉天城に入城し司令部を置いたといふ歷史的意義ある現稅務監督署の事に就き知悉せる者は奉天に只一人、現在民政廳社會科長たる當時七十才の戴蔡甫氏のみであるが、戴氏は右史蹟を詳細に調べ當時の元帥が起居せし部屋等の模樣を記錄する事となつてゐる、之が完成せば日露戰役の貴重なる資料となる可く期待されて居り右地點には此際記念碑を樹て永久に史蹟を保存せんとする企てもある

足立曹長逝く 今朝容態惡化

さきに新發屯上空で試驗飛行中墜落、重傷を負つた飛行〇〇隊足立順市曹長は新京衛戍病院で加療中のところ、二十五日朝來容態惡化し同朝十時十分遂に永眠した、なほ氏は生前の功勞により追つて特務曹長に昇進されるもようで告別式は未定である

第二回採金 調査隊出發

素晴らしい滿洲のゴールドラッシュ現代現出を期待されてゐる採金調査の第二回調査隊は廿四日午後九時四十五分新京發で飯岡、武内、富岡の三班總員百余名が、黒河依蘭佳木斯方面の金層調査に勇躍出發した

大每鹿倉部長南下

大阪每日新聞社鹿倉販賣部長は二十九日午後九時三十分着列車で京圖線經由で來京各方面の視察をなして二十五日午前九時發列車で支局員に送られて奉天へ出發した

天氣と氣溫

天氣	氣溫	日出	日入	月出	月入	滿潮	干潮
南西の風晴	最高十五度〇 最低〇度八	前四時三十九分	後六時三十五分	前三時〇六分	前二時四十六分	前　後	前　後

冬から春へ……　氣候轉換期に　どんな注意が必要か（九）

多から春へ―煤烟から塵埃への非衛生的な氣候轉換期に當る昨今衛生上特に注意をせねばならぬ時期であるが、その豫防方法並にことに注意を必要とする事柄についての衛生上の問題に各專門醫は語る

捨てゝおけば大變　耳・鼻・咽喉の病（上）

滿鐵新京醫院耳鼻科醫長　西垣雄太郎

內地よりの花信徒らに繁きが中に當地はやつと公園の芝生も一はけ綠をはいた、花には未だし、青葉に二旬家居の暖房も焚きみ焚かずみ、といつた氣候の變り目、三月初旬より猛威を振るつた本年の流行性感冒も少しく下火になつたとはいへ、うつかりしてゐるといつとつかまるか分らない幸ひ耳鼻科的領域に於ける死亡率は殆んど零であるが症狀に於ては、日本內地又は南滿地方に比して重篤なる症狀を呈するものが多い、これは流行か內地に於て各人體を經て菌の毒性が高められてゐる、即ち菌の惡性なると共に北滿殊に新京の如き新外來者の多く、且衣食住の不便多く、氣候風土に適應せず隨つて知らず知らずの間に抵抗力減退、素質の低下してゐることが、重大なる原因と思はれる

×

近時當路者の間に綠化運動、防風、防塵林の設備、戶外デーサンマー、タイム等の積極的衛生設備の留意されてゐることに滿腔の敬意を表すると共に、市民各意も各自の健康に對して一層の注意と關心を促したい、何といつても、殘念乍ら當分は滿洲は流行性傳染病の猖獗地帶と覺悟せねばならぬ市民は年々歲々、流感、赤痢疫痢、チブス、麻疹猩紅熱などの恐威を受けてゐる

×

大體現今の醫學は治療醫學を主として豫防醫學は一二の例外を除いて閑却されてゐる、この矛盾は反面より見れば病氣の豫防には深遠なる學理を必要とせないで多くの場合、各人の留意如何によつて解決される場合が多い、即ち早寢早起、日光にあたれ皮膚を丈夫にせよ、規則正しい生活をせよ、冷水磨擦もよいだらう、乾布摩擦もよいだらう、又適應せる衣食住等、これらは常識的に解決され只各自の一擧手一投足の極簡單なる日常生活の行住坐臥の間に諸氏の實行を待つのみであるこの實行によつてある程度の抵抗力は充分培へるかくして、第一に病氣にかゝらぬことが肝要、第二に不幸病魔の犯す所となれば初期の間にこれを豫防すること、が必要である、病氣を恐れる必要はないが、これを侮ることは禁物である、今年流行の感冒もさして、惡性ではないが、種々の合併症を起す場合が多い、鼻咽喉加答兒、急性苗膿症、扁桃腺炎急性中耳炎、頸部淋巴腺炎、氣管支加答兒、肺炎、腎臟炎等である

×

夕方何となく寒けが襲ひ身体か倦い頭痛がする、夕食がまづい、感冒の初期である、翌朝目が覺めると鼻がつまる、鼻と咽喉の間が乾燥して、いらいらするからぜきか出る、含漱をすると少し咽頭の具合かよくなつたが尙身体の關節が倦い、それらは流感の初期であるからこの程度の間に無理をせぬ樣、一日を安靜にして度々うがひをし又は吸入をする

これが進行すると、扁挑腺、炎咽喉加答兒を起して、發熱三十九度より四十度、頸部の淋肥腺が腫張し、激烈なる嚥下病を起してくる、又はすつかり鼻閉塞を起して、前額部の疼痛、又は水鼻が出る、多くの場合急性の蓄膿症を起してゐる、かくなれは早く醫療を受けるに如かず、病氣をこの程度で出來るだけ食ひ止めたい、この程度なれば、二三日長くて十日位の靜養ですつかり全治する、氣管支炎、又は肺炎を併發すると期間か長びくと共に生命の危險をも感ぜねばならぬ

瀧の白糸の水藝　天勝そのまゝ　衣裳道具一切を讓られて！

酒井米子實演隊二日目の替藝題中のよびもの「瀧の白糸」では酒井米子が瀧の白糸に扮し例の水藝の場では松旭齋天勝から衣裳道具一切を讓受けたものださうで大舞を現出し葛木香一の村越欣哉と溜飲の下るやうなところを見せる、これは周知の通り泉鏡花の原作でその配役と場面は次の如くである

主なる配役

村越欣彌　葛木香一
南京出刃打　光岡龍三郎
裁判長　久米譲
口上云ひ新造　明美寛
車夫　黒川匠
太夫元權次　石田陽晤
撫子　糸川靜江
お銀　坪内都志子
瀧の白糸　酒井米子

第一場　淺野川磧幕開は一面の掛小屋裏で、今土地の金貸し岩淵剛造が南京出刃打に貸金の請求をしてゐるそして金が出來ねば一座の女を世話しろと責める責められて、南京は一座の新藏と撫子との戀仲をさいて無理に撫子を金の犧牲に連れて行つてしまふそして邊が靜かになつた頃、白糸は夜風に吹かれる可く外に出て自分の爲めに解雇になつた村越欣彌を訣め、彼の非凡な頭腦を惜んで東京に出て勉强して下さい、其の金は妾が出します、其の代り偉くなれば妾を可愛がつて、と賴むのであつた、欣彌は此の愛情を心から受けて東京に旅立つのであつた

第二場　兼六園の掛小屋　旅から旅を廻つて三年白糸一座は一錢の金にも事缺いているのだつた、でも白糸は百方苦面して月々の欣彌への仕送りは、かゝした事がなかつた、今日も白糸は、其の爲めにわざわざ頭を下げて岩淵から金を借り此の月の仕送りを送らんとした時、哀れな新藏撫子の姿を見て若干の金を持たして逃してやつた彼女には一座の苦しみの爲めに、この純心な二人の氣持を破壞さしたくはなかつたからである、殘りの金を手紙に入れて送らんとした時現れた、南京出刃打は無理矢理に白糸からその金を奪つたのであつた逆上した白糸は丁度其の場に來合せて獸慾を果さうとする岩淵を南京の落して行つた出刃で刺し殺してしまつたのであつた

第三場　檢事室　高利貸暗殺、證さる犯人は瀧の白糸そして其の公判は東京より新任の檢事代理が赴任して敏腕を振ふ、とこうした號外が街から街へまき散らされた、その檢事代理こそ村越欣彌の功なり名遂げた姿である、彼は瀧の白糸が罪人として曳かれてゐるのを知り、それを裁く切なさに辭職仕樣とするが、白糸は唯一言卑怯ですと叫ぶ欣彌は死を以つて公判廷へ望まんと悲痛な決心をするのであつた

第四場　公判廷　裁判が進んで白糸は愛人、生命まで投げ出して、成功を祈つた、戀しい人の前で總てを自白した、欣彌は職責として冷かに死刑を要求するその嚴然たる態度を見て、白糸は嬉し相に自から、舌をかみ切つて、其の場に倒れてしまつたのである、そしてエピローグとして欣彌は其の夜かつて白糸と初戀を語つた淺野川磧の橋上で一發の銃聲と共に愛人の後を追つたのであつた

海の外から

ニラのお蔭で失業記者助かる　一週四十時間制を實施

米國では產業復興法實施以來新聞記者の勞働時間も短縮されることに決定、近く左の如く適用を見る筈である即ち復興局長官ジョンソン氏と米國新聞發行協會幹部代表と談合の結果新聞記者連は二週四十時間、一週五日勤務といふことになつたそこで各新聞社共其の編輯局を增員せねばならぬことになり、從つて今までの失業記者も漸くパンに有り付けるといふ米國式の新しい振りを發揮現大統領は此の處新聞記者連から好感を以て迎へられてゐると

鮮魚小賣相場

品名	相場	品名	相場
活鯛	七二	氷鯛	五八
チヌ鯛	三四	連子	四〇
甘鯛	三五	小鯛	五〇
鮪	八〇	ニベ	二二
ヒラス	三四	スズキ	一七
サバ	二七	アジ	二〇
ヒラメ	二二	ボラ	二〇
コチ	一三	キス	二六
マナカツ	八〇	赤貝	一〇
オコゼ	一三	メバル	二〇
ムツ	二〇	タニシ	二五
サヨリ	一五	黒貝	七
タコ	一七	イヒタコ	二〇
甲イカ	三二	水イカ	四〇
イセエビ	八五	車エビ	二五
カニ	三〇	アナゴ	三〇
貝柱	一六	アワビ	六五
カキ	二〇	ハマグリ	四
シジミ	一〇	カマボコ	三六
舌	一四	數ノ子	二六
マス	三一	タナゴ	二〇

ラヂオ版

二十六日（木曜日）新京

午前一一時四〇分　ニュース（日滿兩語）
同　一一時五九分　時報
午後〇時　五分　經濟市況（奉天より日滿兩語）
同　一時　〇分　演藝（滿語）
同　三時二〇分　ニュース（日滿兩語）
同　三時三〇分　經濟市況（奉天より日滿兩語）
同　四時三〇分　ニュース（滿語）
同　四時四〇分　ニュース（鮮語）
同　四時五〇分　ニュース（英語）
同　五時　〇分　子供の時間
同　五時三〇分　講演（滿語）　中央銀行發行部長劉橋分　關於回收舊紙幣
同　五時五五分　氣象豫報　プログラム豫告（滿語）
同　六時　〇分　ニュース（東京より）
同　六時二〇分　語學講座（滿語）　講師　高宮盛遠
同　六時四〇分　語學講座（日語）　講師　植松金枝
同　七時　〇分　講演ノ夕　＝新京高等女學校講堂より中繼＝　全滿十五學術協會主催　第三回通俗聯合講演會
一、挨拶　社團法人滿洲電氣協會名譽會長　滿洲國實業部大臣　張燕卿
一、電氣ト國防　工學博士　岩竹松之助
一、滿洲ト漢藥　奉天醫大教授　山下泰藏
一、滿洲ノ農業　實業部農林司長　松島鑑
同　八時三〇分　時報　ニュース（東京より）
同　八時四五分　氣象豫報プロ豫告
同　九時　〇分　演藝（滿語）　東群仙　玉香

インフレは滿洲國に適合せず
通貨の安定が絶對に必要
山成中銀副總裁談（三）

世界農産物の相場に追隨して暴落を示してゐる農産物以外の商品は國幣に對し殆ど安定を示してゐる、即ちこゝにも銀の騰貴は認められない、又上海或は天津等に於ける弗價に比較するに滿洲國幣は現に多少の低位に居る位である、即ち滿洲國通貨が特に高いといふ事實は認められないのである、或は日本通貨に比し滿洲の圓が高いために勞働者の賃銀が高くて困るといふ話を日本側から耳にしたこともあるが、滿洲は物價が安定してゐるから賃銀は特に勞働需要の甚しく增さない限り賃銀に變動を見ないのである現に滿洲の勞働者を最も多く使用して居られる方面に於て昨年來賃銀を國幣建に變更された例もあるこれは通貨の價値が變動し下落した場合に勞働者はその生活難よりして値上げを訴へ或は勞働を避くる等種々なる支障と煩雜を來す爲めに寧ろ安定したる通貨により勞働の安定を得策とされたる適例と見るべきであつて通貨及び物價の安定は事業家としては寧ろ歡迎すべきであると考へられるのである

以上述べたるところによつて見るに滿洲農業窮乏の救濟は第一にその需給の調節にある之に對して販路の擴張、大豆利用方面の擴大、生産の轉向調節等最も必要の工作と考へられる、第二は農業金融である、滿洲中央銀行は特産金融に力を傾注し特産物の出廻りに對しこれが金融に努める外金融業者（滿洲に於ける日本の銀行家を含む）等に對しその希望に應じ豐富なる資金を供給して之等の金融業者を通じ特産金融に關し遺憾なきを期すると共に又生産者に對しては春耕貸款により又は共販組合により資金を貸與し他方商工業者に對しては商工貸款の方法を定める等社會金融組織により資金の普及に努めつゝあるのであるが更に亦政府の金融組合（金融合作社）普及方針に合致する樣該組合に對する金融上の援助をなし之が發達を期してゐる、斯の如くして農産物の生産を助長し其の出廻りを援助し以て一面農産物の調節に資してゐる次第である

尚此際附言したいのはインフレにより通貨の下落を來さしめることは滿洲國に於ては絶對に不可なる理由があることである、それは滿洲中銀の開業まで滿洲國民はインフレによる慘憺たる苦痛を具さになめてゐる國民であつて例の學良時代奉天票の價値は濫發の結果五十分の一に下り又吉林官帖、黑龍江官帖いづれもそれ以上の暴落を來したのであつて各官銀號は何れも新に大洋票を發行しその大洋票に對して極力その價値の維持に努めてゐたのである、その大洋票も吉林、黑龍江省共に又復下落して唯奉天の現大洋票は發行日淺く當局者が極力兌換に努めた結果、辛うじてその下落を防いでゐたといふ狀態であつてそれ以外にも未だ各種の紙幣が發行せられたものであるが　これらは何れも慘落して國民は通貨の正當なる價値を認識することの出來ない狀態にあり、如何にして通貨の慘禍から逃れやうかといふことに汲々たるもので、通貨に對する信用は地を拂つていたといつても過言ではなく恐らく中銀の開業が尚兩三年遲れた場合には或は獨逸、露西亞に於ける如き通貨の暴落狀態を呈したかも知れない狀況であつた

中銀の開業以來通貨は安定を持續してゐるが驚いたことには四銀行を中銀に合併した當初は之等の支店は約二百の多數を算したのであるが何れの支行に於ても殆ど一般の預金者無く中銀開設以後之が勸誘に努めたが久しきに亘つて一般預金の預入は微々たるものであつたのである、これをもつて見ても如何に國民が通貨の暴落によつてその資金を捲取せられ紙幣の不安定に怖れをなし其の預金思想を阻止したかが想像せられる、然るに開業後引續き通貨の安定を見た結果近來漸く預金の開始を見るに至り爾來漸增の傾向を辿つてゐるの事實より見ても通貨は開業後直ちに安定したが、申さば國民にとつては未だ通貨に對する過去の歷史觀より試驗時代たるの觀念を失はざるものと言ふべく愈々間違ひの無い實果のある安心すべき通貨たることを確認しなければ預金の發達は期し得られないと考へられるのである斯る歷史的事實より見ても通貨の安定は絶對に必要であると云はねばならぬ、かのフランスと云ひドイツと云ひ通貨の慘落より脫して漸く安定に歸したる諸國が現に萬難を排して極力通貨價値の維持に努めんとする事態に見、又英國が物價の安定に重點を置きその通貨を調節せる事態に見るも通貨の不安定が國民の信用を破壞し延いて國家の存立を危くするの虞れある點に留意し絶大の苦心を拂へるがと想像せられるのであつて滿洲國としては大いにこの點につき考慮し健全通貨の維持に努めなければならぬ次第と考へてゐる（終り）

天津港の對日本貿易

（天津二十三日發國通）當地日本商業會議所調査による本年一月、二月、三月、日本輸出入積荷噸數は左の如くで輸入日本品の船積噸數は一月に比し二月、三月は漸次增加の傾向をとりつゝあるが、日本向輸出品船積噸數は近來棉花の輸出不振から漸次減少の傾向にある、天津輸入日本品船積噸數（單位噸、本年昨年の順）

	本年	昨年
一月	七〇〇、三九七	一、一一八、九〇五
二月	一、三四八、二六〇	八三二、六四四
三月	一、三四五、四九三	一、二七〇、〇二八
合計	三、三九四、一五〇	三、二二一、五七七

天津日本向輸出品船積噸數

	本年	昨年
一月	一、三四五、九〇〇	一、五九六、三〇〇
二月	一、五〇三、三五〇	二、七九四、四六〇
三月	一、二一六、四三二	七九二、九二七
合計	四、〇六五、六八二	五、一八三、六八七

尚天津輸出入額（單位弗、本年昨年の順）

		本年	昨年
△輸入	一月	八、二三四、二六七	八、八九二、九三五
	二月	七、九二七、八七四	七、六三八、七二四
△輸出	一月	七、八一八、一二六	九、二六一、〇二八
	二月	七、〇五九、四一八	六、七一〇、三三九

輸入額に於ては一月は昨年一月より約六十萬圓の減少を來してゐるが、二月は約三十萬圓の增加を示し輸出額に於ては一月は約百萬圓、二月は三十萬圓の減少を示してゐる

中銀各地の大手筋と懇談
國幣の値下りについて相當廣汎な引下げのデマが飛び滿人間に相當な動搖を與へてゐる

に鑑み曩に中央銀行では山成副總裁談の形式を以てその根據なき所以を聲明したが、尚各地特に奉天方面に更に深刻な誤解が行はれてゐるので中央銀行では二十三日各地取引先並ひに商務總會等大手筋代表者の參集を請ひ既報の副總裁談と同樣趣旨で中銀當局の態度を闡明し、根據なき說に惑はされぬ樣種々懇談をなしたが、各方面代表者等も充分諒解し安心して引揚げる處あつた、尚國幣の相場はその後安定の方向に向ひつつあり根强いデマのない限り遠からず平靜に歸するものと觀測されてゐる

鎭平銀廢止で
安東取引所株續落

（安東國通）鎭平銀廢止の佈告によつて近く上物の客体を失ふ事となつた安東取引所株は發表直前の現物氣配七圓（一二、五〇拂込）より廿三日は五圓五十錢に、廿四日午前の市場に於ける氣配は四圓丁度と僅々二三日間に四割以上の慘落を見た

海外經濟

▲銀塊及爲替

倫敦銀塊	一九片一六分五
同遠限	一九片三六分七
孟買銀塊	五三留比一六分三
紐育銀塊	四五仙四分三
米英爲替	五弗一五仙四分一
米日爲替	三〇弗五〇仙
米支爲替	三三弗七五仙
スチール株	五一弗四分一
アナゴンダ株	一六弗八分一

▲印棉

現物	二一仙三五
五月限	二一仙一六
七月限	二一仙三三
十月限	二一仙五四
十二月限	二一仙六〇
一月限	二一仙六三
三月限	二一仙七九
ブローチ	一五五留比

▲上海標金

オームラ	一七三留比
ベンゴール	一三九留比
昨止	九六三・一〇
高値	八五・〇〇
安値	八三・二〇
本寄	九六七・五〇
歩値	九七・五〇

▲上海日本向

第一回	一〇九七五〇
第二回	一〇九五〇
第三回	一〇九六〇

▲上海倫敦向

賣値	一志三片三分一
買値	一志三片一六分九

▲上海紐育向

賣値	三三弗八分三
買値	三三弗三分一

▲大連金鈔票

現物	一二三〇〇
近限	一二三〇〇（先限）
寄付	一三三〇〇
歩値	一三三〇〇

▲大連上海向

引止	九六三〇〇
高値	四四萬 一〇六萬元

▲大連煙台向

	九六七五

▲阪神日米爲替

第一回	三〇弗八分三 三〇弗二分一

各地市場

▲大阪株式

大新株	一三三〇	一三三四〇
大紡新	一三五三〇	一三五〇〇
鐘新	一四〇四〇	一四〇三〇
同短期	一三〇八〇	一三一一〇

▲大連株式

大新	一二四六〇	一二四一〇
鐘新	一三九五〇	一三九三〇
東新	一七三〇〇	一七三三〇
日產	一二六三〇	一二六四〇

▲大阪三品

五品	二六四〇	二六四〇
先限	二六三〇	二六二〇
豆新		

▲大阪棉花

當限	二〇九三〇	二〇九五〇
五月限	二〇七一〇	二〇七六〇
六月限	二〇四三〇	二〇五二〇
七月限	二〇一九〇	二〇二一〇
八月限	二〇〇〇〇	二〇〇一〇
九月限	一九七六〇	一九九〇〇
先限	一九七一〇	一九七八〇

▲大阪期米

當限	五八六〇	五八六五
先限	五八四〇	五八四〇

▲仁川期米

當限	二五九九	二四八九
中限	二五一九	二五三二
先限	二五二六	二五七〇

▲橫濱生糸

當限	二三六八	二三七五
中限	二三九三	
先限	二三〇九	二三〇一

▲神戸豆粕

現物	五三五〇〇	五三五〇〇
當限	五三五〇〇	五三五〇〇
先限	五四四〇〇	五四四〇〇

▲大連特產

四月限	三〇八	三〇八
五月限	三〇八	三〇八
六月限	三一一	三一一
カルカッタ麻袋	一六五留比〇〇〇	
青筋	三三留比八分三	
鐵筋	七六留比八分五	
爲替		

⦿麻袋

現物	三六〇厘
五月限	三六〇厘
	二萬枚

⦿大豆

袋込	三三二	三三八
四月限	三三七	三三四
五月限	三三〇	三三七
六月限	三三四	三三一
七月限	三三八	三三四
八月限	三四一	三三八

⦿豆粕

現物	一二五	一二〇
五月限	一二〇	一二五
六月限	一二〇	一二五
七月限	一二五	一二五

⦿豆油

現物	七六〇	七七〇
五月限	七七五	七七五
六月限	七六〇	七七五
七月限	七六〇	七六〇

⦿高粱

現物	一六三	一六三
四月限	一六二	一六二
五月限	一六九	一六九
六月限	一七三	一七三
七月限	一七六	一七六

新京市況

特產	現物	出來高
大豆	七、七〇	三車
高粱	三、〇〇	五車
小豆	八、五〇	一車

⦿錢鈔

鈔票對金票	一一三、四〇
現大洋對金票	一〇六、九三
國幣對金票	一〇五、一三
現大洋對鈔票	九四、四〇

日滿經濟ブロック結成基礎資料（十五）
鑛產資源について（下）

資源價値

資源要項（滿洲產業統計による）

	面積	立木見込
鴨綠江流域	九十萬町歩	四億三千三百萬石
松花江流域	百四十三萬七千町歩	九億三百萬石
豆滿江流域	八十三萬三千町歩	四億三千三百萬石
牡丹江流域	六十三萬四千町歩	四億二千百萬石
拉林河流域	六十二萬四千町歩	三億四百萬石
中東鐵道東部沿線	二百四十四萬町歩	九億二千五百萬石
三姓地方	五百二十九萬町歩	二十六億二千八百萬石
大興安嶺地帶	千四百萬町歩	五十六億萬石
小興安嶺地帶	千萬町歩	三十五億萬石
計	三千六百十六萬八千町歩百五十一億三千五萬石	

現在伐採に利用せられつゝあるもの　鴨綠江材（鴨綠江上流）吉林材（松花江上流）北滿材（東安鐵道沿線）

木材生產數量　三百二十七萬石（七年）

滿洲國內需要（輸入を合して）約三百萬石

日本より日本輸出　十萬圓（昭和四五年平均）

日本より滿洲へ輸入　百十七萬八千圓（同上）

備考

日本の木材總輸入額　三千五百萬圓（七年）

日本の製紙用パルプ輸入額　千五百二十萬圓（七年）

日本の木材需用高　一億五千八百萬圓

日本のパルプ需用高（昭和二年より六年迄五ヶ年平均）六十五萬キロ　金額約一億圓（同上五ヶ年平均）

本資源の利點及缺點

利用すべき諸點

一、滿洲材は概ね寒帶圏に屬するものにして樹種三百餘種に上り用途も多方面なり殊に針葉樹は本邦材に比し長大にして優良なるもの多く杉松、紅松　落葉松の長大なるものは輸入米材に對し或程度の代用材たり得べく濶葉樹材の內鹽地、胡桃材に特色あり車輛及建築材べにや材料として前途を注目せらる（建築、造船材）朝鮮松、蝦夷松、唐松類、やちだも、滿洲胡桃、高麗水楡、蒙古柏等、（家具材）やちだも、滿洲胡桃、高麗水楡、蒙古柏、きはだ、しなのき、いたまへ、かへで等

二、滿洲材は比較的纖維長く且つ色白きを以てぱるぷ材として最も適當なり

三、運搬に積雪を利用し河川ある地方にては融雪解氷を俟ちて流送するを以て陸上運賃比較的低廉なり

四、京圖線及延依線の開通により利用し得べき木材ぱるぷ原料はてうせんもみ、てうせんたうひ及たうしらべ等にて約六十年間の生命ありと稱せらる

留意すべき諸點

一、滿洲國森林は保護管理に關し殆ど何等の手段を講ぜざりしにより其の荒廢甚しく隨つて粗密大小一定せず伐木、造材、集材、輸出等の諸經費を高からしむ

二、滿洲森林には雜木及腐蝕材の混入少からざるが故に實際に利用し得る材數少く立木材積に對して伐木材積五割、利用材積二割見當なれば原價高を免れず（日本及米國は立木材積に對して七割迄伐木し得）

我國策上より見たる利點缺點

利用すべき諸點

一、本邦のぱるぷ需用は逐年增加し且つ近年人絹工業の發達と共に人絹ぱるぷの需用が急激に增加せるを以て滿洲材によるぱるぷ供給は必要なり

二、本邦の包裝用材は年々需用增加せるを以て沿海洲材若くは樺太材に代るものとして滿洲材の輸入は緊要なり

三、滿洲木材資源の利用開發は過去に於ける邦人投資の甦生となるべし

留意すべき諸點

一、滿洲國森林は概して海岸線を距ること遠く適當なる水利の便を有する地域少きため日本に輸入するに比較的運賃高となる虞あり安價なる米材は其の犬競爭者たるを免れず

二、京圖線其の他の鐵道運賃高率なると輸入稅率高きを以て之れを改正するの要あり

三、伐木地域內に鐵道引込線を有するは北滿鐵道沿線の四五に止り多くは多季積雪を利用する搬出方法に依るを以て運搬には尙ほ多くの施設を要す

四、建築用材を主とする滿洲材の無制限輸入は內地材の壓迫となり山村經濟に影響するところ多し

新版江戸八景（禁上映上演）
行友李風氏作　鏑鐵平傭二氏畫

一一九　江戸役者と御殿女中　一一九　行友李風

『いや、──ところが、ところが、兄き、さうぢやねえ』

鶯吉、しやべり上戸の本性あらはして。

『ほかの事とはちがつて、これぽつかりや、どうも、家では、話せねえ、──まあ、ききなよ』

『うるせえな──話してえことがあるなら、勝手にしやべりやがれ──』

鐵蔵、むかつ腹をたてて、そつぽを向いて、ひつそり、瞬口をぐびり〳〵。

ところが、しやべるなといはれゝば、ます〳〵しやべりたくなるのがおしやべり上戸の上戸たる所以で。──」

『まあ、さう、ぽん〳〵いはねえで、まあ、ききなつてことよ。──話してのは、そら、長持の一件よ。──はゞかんながらお前だつて、おいらだつて、その、何だ、年が年中、照り降りにかゝはらず、長持ちの棒をかつがねえ日は、一日だつてねえ位だ。──こう、息杖一本、トンとついて、肩を切つたが最後、この長持ちの中みは、何貫何百あつて、中の代ものは、どんなたぐひと、ちやんと肩へ響くから、不思議なもんだ。──え？兄き、──さうぢやねえか──』

鶯吉、瞬口から、一つ、ぐいつとあほつて。

『それこそ、鍛錬一四ゐたつて肩の當りで、ちやんとわかるのがそれがよ。ちか頃、今度のならねえといふのは、屋敷へ上る長持に限つて──』

といひかけたとき。

『やい〳〵鶯吉──』

いままで、だまつてきいてゐた鐵蔵、たまりかねて、さへぎつた

『何をくだらねえことをぬかしやがるんだ。──よく、物の前後も考へねえで、ペラ〳〵しやべつちまふのはいゝが、とんでもねえかゝりあひにでもなつたら、どうするんだ。──え？──いゝから、今夜は、もう、きり上げよう……』

ところが、丁度、この、暗闇い店の片隅の上りがまちへ、片足あげて、腰をかけ、チビリ〳〵と樽の隅から飲んでゐた一人の盲按摩。──縮緬の老人頭巾をスッポリかぶつて、顔をかくし、いままで後向きになつてゐたので、人相はわからないが、──このとき、何と思つたか。

『えゝ、もし、そこにゐなさる兄さんへ──』

と聲をかけ。

『何だか、長持ちの中へ錢がはいつて、居るさまがどうとか、かうとか、大層、面白さうなお話でございますが……へ、へ、へ、へ、ねえこちらの番頭さん。酒の肴といつては失禮だが、お差し支なけりや、話してきかせていたゞきたいがのう──』

番頭も、眠氣ざましにはもつてこい。かくされると、尚のこと、きゝたくなるのが人情。

『さうとも。──これは、按摩さんのいひなさる通りだ。もし、鶯吉さん。──ついでのことに、わたしたちにも、その面白さうなところを、きかしちやくんなさらねえか──』

『あゝいゝとも──』

と鶯吉が話しかけると。

『いけねえ〳〵』

鐵蔵、──あはてゝ、さへぎりとめました。

木曜　丁卯　先負　閉　井宿　四月二十六日　七赤

●一白の人　一家の安樂を滿喫すべき日なれど病厄注意　申と丑と寅が吉

●二黑の人　內外の融和は萬事に便益を生じ發達すべし　丙と丁と辛が吉

●三碧の人　我意我儘を捨てゝ溫柔なる心掛が專要なり　甲と乙と坤が吉

●四綠の人　枯木に花は咲けど永持ちは六ヶ敷き日注意　丙と丁と申が吉

●五黄の人　大望は堅く戒むべき日一家協力定業に從へ　巽と丙と庚が吉

●六白の人　靜かに展開を謀るべき日迷を起さば害あり　甲と乙と丙が吉

●七赤の人　煩悶多かるべきも解決を急がば苦勞を增す　乙と巽と寅が吉

●八白の人　努力の功は日頃に倍する利益を收むる吉日　巽と丁と庚が吉

●九紫の人　敬して遠ざけられ諸事首尾全からざるべし　申と乾と子が吉

大阪商船出帆

門司　神戸　大阪行

×印二三等船客設備船　▲印廣島寄港（午前十時大連出帆）

うすりい丸	四月廿八日
×ばいかる丸	四月廿九日
×しあとる丸	四月三十日
▲廣島寄港 扶桑丸	五月二日
はるびん丸	五月三日
亞米利加丸	五月四日
うらる丸	五月六日
香港丸	五月七日

切符發賣所　滿鐵沿線主要各驛及各地ジャパンツーリストビューロー案內所

船車連絡切符（往復切符は汽車二割引、汽船一割引、通用期間三ヶ月）

大連、門司、神戸間乘船切符（往復切符は復路運賃二割引通用期間三ヶ月）

專屬荷扱所　各地國際運輸會社支店

大阪商船株式會社　大連支店 電話四一三一　奉天出張所 電話四〇八　新京出張所 電話二二

新京日日新聞　朝刊　四月廿六日（木）
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社　電話三二二五・三三〇〇
發行人　十河榮忠　編輯人　松本勇　印刷人　谷啓二郎

内蒙三千里 秘境を探ぐる（四）

牧歌は消され桃源の夢は破る 蒙民に更生の黎明

又、北條赤峰領事によつて、縣内に金銀砂金鑛が在る如く傳へられてゐるが、縣公署に於て調査した處によれば現在まで縣内に金銀砂金鑛及び石炭、石油等の鑛産は一つとして發見せられてゐない

大體、興安省南西二分省内の鑛産物として現に採取せられてゐるものは天山、林東、大板、上地方の黒水晶が代表的のもので、金銀砂金鑛等は全く噂にもなつてゐないらしい、石炭は、開魯北方の東札魯特旗魯北で少量の無煙炭を地方民が採掘してゐるが、炭質埋藏量等はいまだ明かにせられてはゐないやうであるしかし天山附近の山中には石炭の露頭が見え、更に興安嶺の主脈中、克什克旗の北部地方には、表土を三尺も取り去ると廣大な炭層があるとも言はれ、この炭層と魯北の炭層とは、天山の露頭を中心に半圓を描いて二千滿里に亘つて續いてゐる等と稱せられてゐるが、現に少量ながらも採掘をしてゐるのは魯北のみで他は殆んど知られてゐない、鑛産のみならず、家畜數にしろ耕地面積にしろ、生活必需品の輸移出入量にしろ、地上の物資も地中の寶も一切が現在の處では正確には判つてゐない、噓のやうな話ではあるが數の觀念に乏しい蒙古人には蒙古の人口も判らないのである、今後蒙古の行政は、それ等一切の基本調査の上に打建てられねばならぬのであるから何は措いても興安省に對しては大規模の調査で始められなくてはなるまい

却說開魯から各地への交通は開魯、通遼の定期バス（所要時間五時間）の外は、北方の阿魯科爾沁王府、西方の市街林西、林東及び南方の赤峰等とは大車、牛車をもつて往來してゐる、しかし其地方への自動車の交通も不可能ではない、解氷期には開魯、通遼間の定期バスもその他の地方との交通も多くは一時不通になるのが例である　通信は開魯通遼間に電信、電話があり一般の郵便物は、バス又は騾馬によつて輸送せられるので新京、奉天に三日乃至五日東京に七日乃至九日を要し、奥地への通信は一層不便である　教育施設としては縣立小學校一、教員二九、生徒八五〇私塾一八、生徒二九〇、女學校一で、日本の小學校と成績品の交換をしたといふ城内の小學校では五歳の幼兒と二十四、五歳位ひの人妻らしい婦人とが机を並べて勉強してゐた、在住の日本人は滿洲國官吏、滿鐵社員、駐屯軍を除けば十數名で雜貨商一、旅館兼料理業一である、日本人の生活物資は多くは通遼から運ぶので飲食物も滿鐵沿線と殆んど變らない

砂漠の蔭に咲く大和撫子の啖呵

興安省南部の日本娘子軍の第一線は且つては林西にまで進められてゐたそうであるが、現在では開魯を第一線として居り此處から奥地へは一人も入つてゐない、開魯准一の日本料亭幾代には六人の日本人酌婦がゐるが、その中の二人は昨年七月に熱河省から沙漠を越えて林西に巣を構へて稼業中二千の部下を擁する兇暴無比の大匪首吳芳山に襲撃されモーゼル銃を兩手で突き付けられながら『馬鹿野郎―ピストルが怖くて奥地の稼業が出來るかつてんだ、見損ふと承知しないよ』とばかり小氣味の良い啖呵をきつて流石の頭目吳芳山をして遂に引金を引かせなかつたといふ秋田縣生れの凄い姐御がゐる　電燈のない開魯の街の冷たい土家屋のアンペラに座つて二分恋のランプに照らされて聽く沙漠の蔭に咲く大和撫子の思出話はその一つ一つが血で彩られた戀と闘爭の冒險小說である（終り）

新京に於る三月中 金融經濟狀況（二）

朝鮮銀行新京支店調査

吉豆

出廻稍々増加氣味なり、月末に於ける相場は石鈔票建にて八圓九〇錢

蘇子及小麻子

漸次品薄となり出廻は減少しつつあり月末相場石鈔票にて蘇子一八圓小麻子七圓

豆粕及豆油

特産物相場下落せる爲め朝鮮内地方面の需要漸く盛となり地場賣豆油採算有利となり原料手當亦順調にて後述製粉界の不振に比し活氣を呈したり

三月中に於ける當地に於ける製造高を見れば　單位（豆粕）枚（豆油）斤

品名	上旬	中旬	下旬	計
豆粕	四九、一〇〇	七六、八五〇	五四、二四〇	一八〇、一九〇
豆油	二四九、九〇〇	三四、三〇〇	二七八、〇〇〇	五六二、二〇〇

大連向豆粕發送數量（キロ）及相場（一枚に付）

上旬數量	上旬相場	中旬數量	中旬相場	下旬數量	下旬相場
一、四四〇	九七錢	一、〇一〇	一圓	一、五〇〇	一圓〇四錢

計　三九五〇キロ

豆油賣上高（斤）及相場（百斤につき）

上旬數量	上旬相場	中旬數量	中旬相場	下旬數量	下旬相場
一二六、一五〇	一二圓五〇錢	一二五、〇〇〇	九、八五	一五一、〇〇〇	九、〇五

二、綿絲布市況

特産界極度の不振と地方不況深酷に春季需要も一般に期待されず警戒人氣に來りし爲めさしたる商内もなかりき、只上、中旬銀高と奥地在荷薄利に、地方筋の思惑買一時擡頭し現物期近物は相當の賣行を見特に加工品にありては値頃の關係上稍々賣上良好なりしに反し綿絲は引續き大同布の賣物に壓せられしと本地大尺布の採算不良に綿絲相場續落したるにも拘はらず荷動き一順後は依然として先物の買氣見へず沈衰裡に越月す月中の主なる銘柄相場を見れば左の如し

銘柄	最高相場	最低相場
一六手塔	二圓三〇錢	[illegible]
象冠大尺布	二圓八〇錢	二圓七〇錢
遼塔細布	九圓二五錢	八圓九五錢
軍人細布	一〇圓一〇錢	九圓八八錢
遼塔粗布	八圓一七錢	八圓一三錢

新京驛到着數量（單位キロトン）
綿絲　三五九（前年同月七六四）
綿布　八〇三（同　二、一三三）
綿製品　一七三（同　八六）

三、麥粉市況

油房界の活況に反し當地製粉界は原料手當難に依然として沈衰狀態を續け裕昌源天興福、益發合等の各製粉工場は何れも操業を休止せり、只下旬に至り福順厚のみ一日間操業し麥粉一、〇七八袋を製造したり　之に反し外粉の輸入は依然として旺盛を極め居るが濠洲粉の値下に大手筋の投賣あり買氣一般と共に市況稍飽和狀態となり見送勝にて氣配軟化裡に越月す　當地への入荷を見れば（單位キロ）

	上旬	中旬	下旬	計
大連埠頭より	四一〇	九九〇	八〇〇	二、二〇〇
京圖線より中繼北行	三八〇	八一〇	四六〇	一、六五〇

尙當地より奥地向の發送數量は蛟河間一八〇キロ吉林向八一〇キロ下九台向一八〇キロ樺皮廠向二四〇キロ等をその主なるものとす

當地に於ける麥粉相場を見れば（單位一袋につき圓）

品別	前月末	上旬	中旬	下旬
一等品	二、九四	二、八五	二、七〇	二、六五
二等品	二、七五	二、七〇	二、六〇	二、四五
三等品	二、三〇	二、四五	二、二五	二、二五

尙當地ニ於ケル數軒ノ大手筋ニ於ケル當月中地場賣上高合計數量ハ左ノ如シ（單位袋）

品名	上旬	中旬	下旬	合計
一等品	六〇三	三、〇七〇	三、七九二	七、四六五
二等品	一、三一〇	三、六七〇	三、七四八	七、九九八
三等品	三四九	三三六	五、八七〇	六、五五五
四等品	一六八	二一〇	五四二	九二〇
合計	二、六二三	七、二二六	一三、九五二	二三、八〇〇

帝政記念塔の設立基金 好成績

（奉天國通）帝政記念塔建立に就き教育廳はかねてより力を入れて居たが豫想以上の好成績で現在小中學校教育關係方面及び四十四縣より集まつた醵金額七千九百餘圓に達し十四縣の未收金額を合するとこれ等は浄財九千餘圓に上る筈で愈よ故宮市立公園に五月中旬より起工　七月末に完成することとなり名稱は大滿洲國帝政記念塔と決定した

高山總裁 奉天經由北支に向ふ豫定

（大連國通）當地滯在中の高山東拓總裁は本日午前九時發『はと』にて奉天に向つた、同地に一兩日滯在の上奉山線により山海關經由北支に向ふ豫定である

創作 英雄といふもの（一）

永田美那子

上海吳淞の空はドンヨリ曇つた

名物の黄塵が渦巻いてゐるのではない

雨か？でもない!!!

張作霖軍（北軍）蔣介石軍（南軍）とが猛烈に砲火を交へた硝土の妖雲である

蔣介石は、江西省の九江に武將十七八名を集めて、北軍（總大將張宗昌）擊滅の作戰會議を開いた

その結果　揚子江を上下する汽船をかり集め南京の上流南岸に横はつてゐる蕪湖に軍勢を運送して、浙江省杭洲の支隊と連絡を取つてヂリヂリに上海に押し寄せた

それから二日…三日と詰め寄つて江蘇省の常州に出て、南京上海の鐵道を占領して、浙江省の嘉興にニヂリ寄つた支隊と完全に北軍を吳淞に擊退して、袋のねずみ同樣に追い詰め出したのだつた

拂曉より總攻擊の命を下した、蔣介石は　猛烈な銃砲彈の炸裂する音をききながら、參謀部に宛てられた龍華周家の奥の院に唐木の角張つた椅子に腰を下すと、落ついて部下が差出した水煙草をグルグル言はせ乍ら吸つた

絶間なき砲彈の壓力は戰場の空氣を引チ切つてゐた

ドドン！ドノ!!ビューン!!

ドドン!!

ダダダダダダ………バリバリ

薄墨色になつてゐた奥の院の硝子窓は辷り落ちるやうに破壞される音がして、ドッと煙哨の渦巻が煽り込んで一瞬生き物の呼吸を止めた

三分……五分……一方の窓口がポッと明るくなつて煙りが逃げ出すと、恐怖の本能は淺ましいまでに人間の姿勢を變へさしてゐた

五人の參謀は、石膏人形のやうに眞白い口唇をして立すくんでゐたが、顔だけは言ひ合したやうに蔣介石の方を見守つてゐた

唐椙の後から二人……唐木椅子の下から一人……壁に掛つてゐた石刷の大軸を俄雨にあつたものが、油紙を引張りあつて被つてゐるやうな格好で頭だけを突込んでゐたものが三人もゐた

しかし、これらは皆雜兵共であつてよかつた

さすがに、蔣介石のみは五分前の姿勢をくづさずにそいつらをヂロリと見廻したまゝ一言も云はなかつた

この、時はげしくドアーをノックする音がして、傳令將校がうめき乍ら這入つて來た

「報告………北軍は吳淞に集合して、崇明島から長江北岸の通洲に退却する豫定と思はれます！　それで如何なる方法を採るべきものでありませうか！　鎭江の軍艦を下江させて要擊すれば、完全に擊滅することが出來ると信じますが！」

傳令將校は流るゝ汗を拭くおうともせず、蔣介石の瘦せ焦げた頬と英雄らしい鋭い眼光を瞠めた

唐木の丸い卓子の上に擴げてあつた、地圖の上に眼をやつた蔣介石は赤鉛筆で、ツーと鍵形に線を引いて、側の參謀に判じさせるやうな眼付をして口唇の動きを待つた

「成程その方が一石二鳥でありませう」

蔣介石の奇智をたゝへるやうに言ふとウンとうなづいて自ら筆をとつて何事か認めると密封してその傳令將校に渡した

第一關門から第二關門まで右往左往に駈けゆく部下の姿は蔣介石の望遠鏡に十六ミリの如くグルグルまわつて殘つた、疾風のやうに自動車を唸らせて參謀本部に賍況を報告に來る者等で午後からの司令部は戰捷の喜ひに足並も浮々とざわめき出した

急特設牒報部からの電話を蔣介石は自ら聞いてゐた

「ヨシ、直ぐ來るやうに命じてヨシ！」

暫くすると、一方の寢室であろうと思はれた、黒緞子に昇り龍の刺繡のあるカーテンがヒラリと風に飜つたやうに思ふと、靜かに靜かに普の支那服を着た青年がヌーと出て蔣介石の前に佇ずんだのを見ると色こそ小黒く燒けてゐるが、稀に見る美青年であつた

あまり笑顔を見せない蔣介石も

「おゝ高鳴！」

といつて立上り慈愛のこもつた眼付でにつこり笑ふと握手を交した

高鳴と呼ばれた青年の父は沈志宏といつて、故孫逸仙の軍務總長であつた

南軍の名刀と言はれた沈軍務總長は、其頃企劃的に戰略の歩をすゝめてゐる東北軍閥を睨みから外す筈はなかつた

所謂、賓客名目のもとに東北關係の形勢を視察せんと、奉天の張作霖を訪問した

作者の言葉

英雄と云ふもの〻懊惱が短篇的に、幼稚な私の筆に綴られたことはさぞ地下の英雄、地上の豪傑達には御迷惑でせうが、私の腦細胞にチラリと浮んだ兵家葛藤一刻を活字にして見ます

范家屯區公示第二號
新京中部區公示第一號

春季清潔方法施行ニ關シ左記ノ通范家屯警察署長ヨリ告示アリタルニ付テハ檢査前日迄ニ遺漏ナク施行セラレタシ

昭和九年四月二十四日
南滿洲鐵道株式會社
新京地方事務所長　荒木章

范家屯警察署告示第三五號

管内居住者ハ左記標準ニ依リ檢査前日迄ニ清潔方法施行シ警察官吏ノ檢査ヲ受クヘシ
但シ指定期日迄ニ施行シ難キモノハ其ノ事由ヲ具シ當署ノ承認ヲ受クヘシ

昭和九年四月三十日　范家屯警察署長

清潔方法施行標準

一、住宅及物置等ニ在ル家具其ノ他移動シ得ヘキ物品ハ全部交通ノ妨害トナラサル屋外ニ搬出シ家屋ノ内外ヲ掃除スヘシ
二、倉庫内ニ格納セル多量ノ物品ハ搬出スルニ及ハスト雖モ窓戸ヲ開放通氣射光ヲ圖リ其内外ヲ掃除スヘシ
三、天井又ハ床下ニシテ其ノ内部ニ出入シ得ヘキ構造ノ家屋ニアリテハ天井裏又ハ床下ヲモ掃除スヘシ
四、疊敷物寢具衣類等ハ三時間以上日光ニ曝スコト但シ日光ノ爲メ褪色オ虞アルモノハ蔭乾トナスモ妨ナシ
五、水道栓井戸日常食料品置場厨房煙突穴倉地下室塵芥溜下水溜下水溝厠及其ノ附近ハ特ニ叮嚀ニ掃除シ其ノ破損ノ部分之ヲ修理スヘシ
六、邸宅内ニシテ濕潤ノ場所ハ土砂石炭灰又ハ木灰等ヲ敷キ其ノ乾燥ヲ圖ルヘシ
七、家屋物置等ヲ掃除シタル後ハ通氣及射光ヲ圖ルヘシ
八、塵芥其ノ他ノ汚物ハ火災ノ虞ナキ場所ニ於テ燒却スルカ又ハ容器ニ納メ若クハ散亂セサル樣集積シ置キ搬出ニ便ナラシムヘシ
九、劇場其ノ他興行場旅館料理店寄宿舍下宿屋理髮店魚菜市場苦力收容所ノ如キ常ニ公衆ノ出入スル場所業態上不潔ニ陥リ易キ場所ハ注意シ叮嚀ニ掃除スヘシ
一〇、前各號ノ外警察官吏ノ特ニ指示シタル事項ハ嚴重ニ勵行スヘシ

五月六日　范家屯鐵道南榮町以西
五月七日　鐵道北全部鐵道南榮町以東雨天順延
五月八日　大屯陶家屯附屬地一圓
　　　　　范家屯陶家屯附屬地一圓

譯文

范家屯警察署佈告第八三五號
爲佈告事照得居住本署管內各戶須照左開標準於檢查日期之前一日以前施行清潔方法聽候警察官吏之檢查但於定期日以內礙難遵行者預先具情呈報本署須受其認可爲此特告仰各界人等一體知悉遵照勿違特告

昭和九年四月二十日

開清潔方法施行標準計

一、凡在房屋及倉庫內之所有各種家俱物件及能移動之什物一槪搬出於不礙交通之處俾將房屋倉庫之內外掃除清淨再行搬回
二、凡在倉庫內所有多數物件雖未必搬移屋外須門窗開放以通空氣射入日光
三、天棚床下等處凡能沒法打掃務要掃除清淨
四、蓆子舖蓋衣服等類曬三點鐘以上之時刻雁物件慮有減色者不妨背日晾乾
五、水道栓井戶常放存食之處如厨房浴室空煙筒地窖地下室塵芥箱塵芥擺置場陰水坑暗溝茅厠及其之附近均須注意掃除乾淨土有損壞之處加修理整齊
六、邸宅內潮濕之處務必撒布土砂煤灰木灰等物舖熟以資乾燥
七、房屋倉庫等處一經掃除而後務期窗開放流通空氣射入日光
八、塵芥及其他之穢物等類於無火虞處燒棄或拐納器中或推積不使散亂以便搬運
九、凡如戲園樂子園其他工廠魚菜市場客棧料理店寄宿舍下宿屋及苦力收容所等常多人出入之處或易招不潔之處格外加意掃除潔淨
一〇、除前各號外特由警察官吏所指示之事項亦須嚴重勵行

要日期　與日文相同

英國の對日照會は極めて友好的辭令

何等九ケ國條約に抵觸せず 英も極東政策闡明

(ロンドン廿四日發國通)英國政府は日本外務省の所謂當局談に關聯し二十四日駐日大使リンドレイ氏に對し口頭を以て日本政府に照會するやう訓令を發した、右訓令は質問書の如き格式張つたものでなく極めて友好的な辭令を以て日本政府の眞意を確めたものに外ならず、英國政府の極東政策闡明を主眼としたもので必ずしも日本政府の正式回答を必要としないものと解せられる、訓令の要旨は左の如きものである

一、支那並に極東問題一般に對する英國政府の立場を明確に表する

一、當局談は支那に對する或種の財政的援助に關して反對を表明してゐるが、此の點につき英國政府の態度を闡明する、但し英國政府としては當局談に表明した日本政府の政策が何等支那に關する九ケ國條約違反の意圖に出でたものとは考へず現在のところ他の九ケ國條約定約國と協議を遂げる意思は全然持つて居ない

我が外務の聲明に 米國は不干與

フイリップス國務次官談

(ワシントン廿四日發國通)米國務次官フイリップス氏は二十四日記者團の質問に對し米國政府が英國の對日照會に追從し日本政府をして公式にその對支政策を明確に表明せしめんとする行動に出ずる可能性に就ては一切意思表示をなさず、米國政府は尠くとも現在のところ過日の外務當局談による日本の對支政策の闡明により起る一切の國際的紛糾に就ては干與せざる方針であることを明確に示し各方面の注意を惹いてゐる

フ國務次官に誤解なきやう説明

齋藤大使自發的に訪問し

(ワシントン二十四日發國通)齋藤駐米大使は二十四日國務次官フイリップス氏と會見し去る十七日我外務當局が非公式に發表した當局談につき事情の説明をなし米國側の誤解を解くことに努めた、右會談は短時間で終つたが辭去後齋藤大使は左の如く語つた

別に公式通牒を渡すためではなく例の當局談の全文をのせた日本の新聞記事並にこれに關する社説を置いて來た同氏には當局談なるものが東京で發表された經緯につき説明して置いた、自分がフイリップス次官を訪問したのは全く自發的で本國政府の訓令によるものではない

當局談は單に過般の帝國議會で廣田外相が演說した世間衆知の對支方針を繰返し闡明したものにすぎない、從つてかく世界的に影響をよんだのは意外とする所だ、日本は決して支那の門戸開放に反對する考は毛頭なく日本の利益を害する虞れある交渉をなす場合は豫め日本と協調すべきであると主張するものである

英大使外相訪問 本國の覺書を手交

(東京國通)駐日英國大使リンドレ氏は二十五日午後三時外務省に廣田外相を訪問したき旨を申込んで來て居るが、右は二十八日出發歸國することとなつたので暇ごひの挨拶をなす外、去る十七日外務省當局談の形式で發表された對支聲明に關し深甚の注意を拂ひつつある本國政府の訓令に基き覺書を提出の上我が對支政策發表の意圖につき詳細なる眞意を聽取し併せて支那に對する權威の再確認を要求するに非ずやと云はれて居る

經濟參謀本部設置 資源局の調査後に

平時産業の統制に國家總動員

(東京國通)經濟參謀本部設置に就ては內閣資源局や法制局で研究中だが最近林陸相や陸軍首腦部の國家總動員に備へるため平時産業の統制に關し政府を鞭撻せんとし來り關係閣僚が協議して居り、これが具体化の機運に向つたが資源局の調査完了せば論議される模樣である

帝都の空を護る 防衛司令部設置計畫

(東京國通)陸軍省では帝都の空を防禦するため防衛司令部を平時から作り防空の準備をなし置く必要を認め考究中だが目下の案は司令部建築費百萬圓內部設備費五十萬圓敷地買收費五十萬圓と合計二百萬圓を要するわけだか各國首府中防衛司令部のないのは東京だけでこれが經費を如何にして捻出するかは注目されて居る

日銀週報

(東京國通)日銀週報左の如し

發行兌換券	一、二六九、六〇四
正貨準備	四三〇、〇九九
保證內譯 公債	三九九、九〇五
政府證券	三一、〇〇〇
證券	五四、六〇〇
手形	三五五、〇一九

海上の鄭總理

七十五回の誕生日を迎ふ 恙なく一夜を明す

(うすりい丸國通)うすりい丸で一夜を過した鄭總理は此の日も例の通り午前四時起床多島海の朝景色を眺め乍ら甲板を散歩非常に元氣である

今日は鄭總理の誕生日で奇しくも大任を終へて滿洲歸着の前日七十五回目の誕生日を海上に迎へ隨員其他船客から「お目出度う」の挨拶を受け、今日は珍らしく滿洲服を着けた鄭禹秘書官と食卓につき杯を擧げて新京に在はす皇帝陛下の御健康を祈り奉つた

鄭特使出迎へに 遠藤總務廳長大連へ

遠藤總務廳長は鄭國務總理大臣出迎へのため廿五日午後四時半發列車で大連に直行した

滿洲國辭令

任哈爾賓警察廳警佐(委任二等) 小川國廣
任哈爾賓警察廳巡官(委任二等) 長濱國吉
任哈爾賓警察廳警佐(委任一等) 和田富彥
任哈爾賓警察廳技士(委任三等) 本田小三郎
守谷捷男
任哈爾賓警察廳巡官(委任三等) 林邦利
任哈爾賓警察廳警佐(委任二等) 山崎正男
任哈爾賓警察廳巡官(委任三等) 杉原一成
任哈爾賓警察廳巡官(委任二等) 黒木新平
任哈爾賓警察廳巡官(委任三等) 本田末男 佐藤一郎 森山進 各通
任國都建設局技士(委任二等) 佐々木心策
任國都建設局屬官(委任二等) 國都建設局總務處勤務 古口長三
同上 國道局技士 水島隆一
齊々哈爾國道建設處轉勤

米艦隊のパナマ運河通過 大失敗

(パナマ廿四日發國通)廿三日午前五時十一分から開始された米國聯合艦隊百十一隻のパナマ運河廿四時間以內通過計畫は劃期的な事件として全世界各國にその成否を注目されて居たが、廿四時間を經過した廿四日午前五時十一分に至るも遂に全艦隊の通過を完了せず大失敗に終つた、但し夕刻までには全部通過する豫定である、一方現在約卅隻の商船が之が爲全艦隊の通過が完了するまで運河口に釘づけとなつてゐる

滿洲國觀兵式 諸兵指揮官以下顏觸れ決定

來月十日飛行場で擧行される滿洲國大典觀兵式參加部隊團長以上の人名は左の通り

新京參加部隊長

一、諸兵指揮官及諸兵參謀並副官
諸兵指揮官 奉天省警備司令官 陸軍上將 于芷山
諸兵參謀長 軍政部宣傳委員會委員 陸軍少將 王之佑
諸兵參謀 軍政部軍事課用兵股長 陸軍步兵中校 于徵
同 軍政部軍事課編制股長 同 楊崇武
同 軍政部附 同 王維藩
諸兵副官 軍政部軍事課員 陸軍砲兵少校 孫家鐸
同 軍政部總務課員 陸軍步兵少校 金濟春
二、軍樂隊
新京軍樂隊 一等軍樂隊長 張發
三、禁衞步兵團
禁衞步兵團長 陸軍步兵上校 郭文林
四、新京地區警備步兵第四旅
旅長陸軍中將 刑士廉
參謀長 陸軍步兵上校 閻克銘
步兵第十三團長 同 王鼎臣
五、騎兵第一旅
旅長陸軍少將 王克鎭
參謀長 陸軍騎兵上校 周大魯
騎兵第一團長 同 宗樹聲
騎兵第二團長 同 田春風
騎兵第三團長 同 劉雅軒
六、鳩班
陸軍通信本處鳩班指導官 步兵少佐(應聘官) 井崎於莵彥

地方代表部隊長

一、奉天省
奉天省警備司令官代理(未定)
二、吉林省
吉林省警備司令官 陸軍上將 吉興
三、黒龍江省
黒龍江省警備司令官 陸軍中將 張文鑄
四、熱河省
熱河省警備司令官代理(未定)
五、北滿鐵路護路軍
北滿鐵路護路軍司令官 陸軍上將 于琛澂
六、興安東分省
興安東分省警備司令官 陸軍騎兵上校 綽羅巴圖爾
七、興安西分省
興安西分省警備司令官 陸軍中將 李守信
八、興安南分省
興安南分省警備司令官 陸軍少將 巴時馬拉布擔
九、興安北分省
興安北分省警備司令官 陸軍少將 烏爾金
十、靖安軍
靖安軍司令 陸軍少將 藤井重郎
十一、陸軍訓練處
陸軍訓練處 部長(未定)

新電報局長 尾立米喜氏來社

滿洲電信電話株式會社新京中央電報局長に着任の尾立米喜氏は庶務課長有馬吉夫氏と二十五日就任挨拶に來社

日滿の對支情況の調査に努む

某所着電によれば去る十八日何應欽は蔣介石に宛て左の如き密電を發したが、その要旨は次ぎの如くである

長春駐在情報員は今回集合報告方法を改め分類工作をなすことにし、陳組長をして軍事組、政治組 國際組、地方政情組の四組に分ち編成せしめ經費三萬圓を增加し、毎月經費八萬五千圓として以上の計畫を五月初に改組を開始し各々北平軍事分會特殊報組とし日滿双方の對支情況の調査をなすことになつた

第十二回 論功行賞發表

(東京國通)今回の事變に於ける第十二回論功行賞は二十五日內閣から御裁可を經て公布された、今次の分は主として昭和八年滿洲各地に於て名譽の戰死をとげた將兵五百七名に對するもので內四百九十六名は金シ勳章を授與せられ特に偉功を立てた山海關事變の際の一番乘り吉田大尉外七十八名に對しては殊勳者中の拔群者として特殊の恩賞に預つてゐる

讀者の聲

將兵の歡送迎を實行致しませう

愛國生

熱し易く醒めやすいのは日本人の通有性といはれてゐるが滿洲事變突發當時は國を擧げて、在滿將士の歡送迎、或は慰問袋の送附等天晴れ日本國民の面目躍如たるものを現はしたものだが治安工作も漸く完了を見やうとしてゐるこの頃、早くもこれら第一線部隊の歡送迎のため驛に出るものが少くなつたり、慰問袋が急に減じたりするのは何んとしても嘆かはしい事である、酷熱肉をたゞらす夏の滿洲に激動する小匪を追ふて幾轉戰、或は吹き荒む蒙古おろしに曝され、我 生命線 を護つて朔北の夜を立ちつゞける將兵の勞苦は決して事變直後に勝るとも劣るものではない、こゝに思ひを至す時我等は衷心より感謝の誠を捧げたい氣持で一ぱいになるのである、どうか讀者諸君、これ等忠勇なる將兵に報ゆる一つとしてせめて驛の歡送迎、時々の慰問袋增呈ぐらい實行しやうではないか

七時着の北鐵の時間を變更せよ

去る十六日より改正の東鐵列車の朝七時着は大連發列車の着時刻と重なり頗る出迎人のために迷惑です今少し專門家により改正を東鐵に要望したいのです!

新京日々愛讀者一人

我國々防と內政の調整を痛感

三大政策に陸軍の意向具現 陸相各閣僚と會見

(東京國通)林陸相は就任以前から我國の意外の危局を考察し我國々防と內政問題の調整を痛感し對策を考究中であるが、この際從來の行きがかりを捨て具體的方策を實現する事となつた、即ち閣議決定の三大施設の實施に際し、右政策中に陸軍の意見を充分包含させ陸軍の抱負を實現せんとし目下部內の各機關に具體案の作成を命じつゝあるが、これまでより觀て所謂會議が效果なきを察し各閣僚と個々面接せしめてゐる、先づ手初めに永井拓相、廣田外相と會見する筈

益金繰入れに鐵相反對釋明

大藏省はあく迄も實現を期す

(東京國通)鐵道益金の繰入れ問題につき三土鐵相が高橋藏相に內諾を與へたと傳へられるや鐵道部內、殊に現業關係に動搖を與へたので三土鐵相は昨二十四日午後の省議で繰入れ問題については話があつたが考慮すると答へたのみで二千萬圓程度の繰入れをしても老大な赤字には燒け石に水であると説明して釋明したが大藏省側ではあく迄も實現を期してゐる

全歐洲を震憾させた 大間諜事件結審

(ヘルシンキ「フインランド」廿三日發國通)フインランド史上未曾有の大探偵事件と言はれるマルチン、シユール夫人以下廿三名に係はる國際間諜事件の審理は廿三日結審となり首魁マルチン、シユール夫人には八ケ年其他の共犯には夫々それ以下の短期の懲役宣告があつた

右犯人は何れもソヴイエート要路のために間諜を働いたもので、昨年十二月パリで發見逮捕された國際スパイ團の一味と目され、英、米、佛及びフインランド等の諸國に股がり軍事、商事、經濟等の各分野に亘り大がゝりの間諜行爲に從事してゐたもので、昨年十二月廿日前後からパリ警視廳の大活動となり、既にフランスに關する限り間諜通はほとんど潰滅に歸したものであつた

北、東、兩大營の地鎭祭擧行

(チチハル國通)福昌公司出張所では本年度最初の工事として兵營工事の請負をなしたが來る二十五日午後二時から北大營の地鎭祭を擧行引續き東大營の地鎭祭を行ふ事になつた

特産不況打開に 滿鐵乘り出す

運賃滯貨特産の新販路等研究 委員の顏觸も決定

(大連國通)滿鐵が先般來內々準備を進めて居た特産不況對策は略々對案を得たので二十四日午後の重役會議で下審議を行つた結果愈々正式に對策委員會を設け不況打開の途を講ずることとなつた、これは滿鐵貨物運賃に大影響ある問題で一方農業國滿洲の農村国救とも關聯することとなるので運賃問題を中心に滯貨特産の處分新販路等に就き研究することとなつたが、右委員會委員は二十五日十時左の如く發表された

委員長 山崎理事
委員 中野文書課長 八木監査役 奧村業務課長 長山會計課長 石原鐵道部庶務課長 山口營業課長 神守地方部庶務課長 香村農務課長 星野農工課長 伊藤經調主査 中島經調主査 佐藤鐵路總局文書課長 中西鐵路總局運輸處主任
幹事 中野文書課長 中島主査

滿鐵辭令

新京驛貨物方 事務員 淸田趙夫 湯山城驛助役を命ず
新京列車區車掌 事務員 小林耕一 奉天列車區旅客事務を命ず
新京列車區車掌 事務員 近藤周一 孟家屯驛々務方乘助役心得を命ず
新京列車區四平街分區車掌 事務員 日置吉太郎
小崗子驛貨物方 事務員 五百森萬四郎 南新京驛々務方乘助役心得を命ず(各通)
蓋平驛助役 事務員 松永敏
遼陽驛操車方 同 田名部武 新京驛構內助役を命ず(各通)
新京驛構內助役 事務員 軍司三郎 事務助役を命ず
新京列車區車掌 雇員 秋本逸夫 社員非役規程に依り非役を命ず
臨傭 後藤七郎 甲種傭員を命ず 新京檢車區車手を命ず
新京驛々手 甲傭 山崎儀信 新京鐵道事務所事務助手命ず
新京驛々務方 甲傭 土井田君子 願に依り傭員を免ず
准傭 濱邊久雄 同 松井修 甲種傭員を命ず、新京地方事務所事務助手を命ず

野田旅順工大學長來京談

旅順工科大學々長野田淸一郎氏は二十四日午後七時三十分着列車で來京、大和ホテルに投宿中であるが往訪の記者に次の樣に語つた

學生の思想方面ですつて?四百の學生揃つて堅實なものです、東洋學術、日本學術の充實に沒頭してゐるから大丈夫です、卒業生の就職率も百パーセントで、殆ど滿洲ではけます、土木方面の賣口が目立つてよい、昨年から特に入學生の態度がグラッと變つたことは從來は內地の高等學校などと二つ試驗をうけて兩方にパスすれば工大をよして內地の學校に入學したものが、昨年から二道かけてゐても工大の方を取消しするものが一人もなくなつた、それだけ滿洲に對する關心が深くなつたことを意味する、第二に滿洲國人の知名士の子弟が多く入學する樣になつた、臧民政部大臣の子息も今年入學された

氏の離京は二十六日か二十七日の豫定

偶語

幾多涙ぐましい美談を織り込んで忠靈塔の献金がぞくぞくと本社に寄託される、さきに函館の大火に同情して多額の義捐金を贈つた新京市民として當然すぎることだが、誠に美しい限りである▼殊に新京高女生一同が申合せて一錢二錢の零細な金の出所を調べて見ると、いづれも感激に値せぬものはなく、やがて世の母となる少女達のやさしい氣持がうかゞはれて頼もしい▼あす軍主催の招魂祭が新京神社で盛大に催される、この度の招魂祭は滿洲事變による戰病歿將兵が靖國神社に合祀される臨時大祭である▼關東軍のお膝下であり、事變と關係深い新京市民として殊に永遠に忘れることの出來ない意義深きものであることゝに申すまでもなく▼嚴かな祭典に續く奉納の諸催しなどもあり神社を中心に市中一般は業を休んで大いに賑ふことであらう

公示

新京中間區公示第三號
范家屯區公示第二號
定期種痘施行ニ關シ左記ノ通リ范家屯警察署長ヨリ告示アリタルニ付テハ該當者ハ種痘及檢痘ヲ受ケラルヘシ
昭和九年四月二十四日
南滿洲鐵道株式會社
新京地方事務所長 荒木章

范家屯警察署告示第八三六號
五月一日當署管內居住者ニ對シ左記ノ通リ定期種痘ヲ施行ス保護者及義務者ハ指定ノ日時場所ニ於テ種痘及檢痘ヲ受クヘシ
但シ痘瘡ヲ經過シタル者ハ此ノ限リニ非ス
昭和九年四月二十日
春木范家屯警察署長

記

一、未タ種痘ヲ受ケサル者生後九十日未滿ノ者ヲ除ク
二、第一期第二期種痘該當者ニシテ種痘ヲ受ケタルモ不善感ナリシ者及第一期第二期種痘該當者ニシテ種痘ヲ受ケサリシ者
三、前各號ノ外種痘後滿五年ヲ經過セル者ハ成ルヘク種痘スルヲ可トス
種痘月日 五月一日
檢痘月日 五月七日
種痘及檢痘の月日並場所
種痘及檢痘場所 當署講堂

譯文

范家屯警察署告示第八三六號
爲佈告事照 月 號照左開各項施行定期種痘保護者及義務者屆期赴指定場所受種痘及檢痘但除生過天花者
昭和九年四月二十日
春木范家屯警察署長

計開

一、未受種痘者 但除生後未滿九十日者
二、該當第一期第二期種痘受種痘不善感者及第一期第二期種痘該當者中未受種痘者
三、前各項之外受種痘後已過滿五年者務必要種受痘
(日期與日文經)

本社扱ひ 函館大火義捐金
一萬六百圓に達す
滿人市民發起の義賑會から
昨日六千九百圓寄託

新京驛市民發起日本函館火災義賑會といふのが組織され左の役員の滿洲人諸氏が奔走、去る十七日から二十日まで附屬地東群仙で附屬遊廓の妓女達や新京戯院の俳優が得意の演劇をやりその收入から諸雜費を控除した純益六千九百五十二圓〇二錢を玉紹庭氏以下代表が二十五日午後新京署を訪れて提出した、高山署長およひ之を受附けた井上保安係主任はいたくその隣人愛の發露に感激し之を受納し、直ちに本社に寄託、罹災地函館に送金することとなつたが、これで本社扱ひ累計一萬〇六百七十七圓四十六錢となつた、右函館火災義賑會役員は左の如くである

函館火災義賑會職員表

總務部主任 王紹庭　副 梁子安　同 宛榮臣　同 呂萬濱　庶務部主任 仲竹銘　副 劉細齋　同 王仙舟　同 鄭世臣　宣傳部主任 劉鳴岐　副 張歩寅　交際部主任 展子祥　副 孫範五　同 朱子言　同 孫尚武　實貨部主任 劉潤田　副 高勳功　同 畢自卿　同 劉國瀋　戯台部主任 將俊卿　副 李慶堂

鐵道が計畫の 本年度旅行團体

新京鐵道事務所旅客係では一般在滿邦人の旅行團体、募集計畫並ひに誘致策に餘念ないが昭和九年度の團体募集をやる回數 遊覽地人員などは左のものが計畫されてある

一、五月五日本社後援の星ヶ浦櫻花觀覽團百名
一、五月中旬郭安店の杏花園四百名（二回）
一、五月中旬鐵嶺、龍首山見物二百名
一、五月二十七、八日大屯阜豐山娘々祭見物三百名
一、六月下旬公主嶺の菖蒲觀賞及ひ農場見學四百名（二回）
一、十月初旬公主嶺の農場見學及ひジンギスカン鍋なほ滿洲國々線を利用して
一、五月中旬吉林へワラビ取りに二百名（二回）
一、八月中旬に松花江川遊ひに四百名（二回）

これが團体誘致策としては新聞紙上で募集廣告記事掲載してビューロー驛主催名義で立看板を設置して宣傳の徹底を期すると

光榮の日近く 輝やく童子團
各地から續々參加
西廣場校で日滿交驩會

りりしい姿の滿洲國新京童子團の代表團員は近づく御親閲式の豫行練習を毎日學校に於て行ひ日曜日には緑かゝつた西公園の芝生の上ではち切れさうな元氣で一生懸命練習して居る、文敎部の聯盟本部に式典委員長張燕卿氏を訪へば

「光榮に浴する日も近くなり各地方聯盟からの報告もすべて到着し終りました、交通不便な熱河の地方からも、黒龍江省からも、帝制實施の奉祝の赤誠を披瀝する爲に御親閲を仰ぐ旨の屆出があります、團體數三十一、總人員四百八十名でスカウト音樂隊も組織されました、五月七日に正修童子團の結盟式並に畏くも童子團聯盟の御親閲式を仰ぎ奉る外、十日迄の間に數々の行事か定められ六日の日曜日には宮内府前より西公園へスカウト大行進が行なはれたり、西廣場小學校に於て日滿スカウト交驩會が行はれたり、種々の計畫が進められて居ります參加記念章も出來上り光榮の日の來るを待つばかりである」と朗らかに語つた

旅程其他決定

別項、童子團聯盟の御親閲式は七日宮内府前廣場で行はせられるが右參加團体は 奉天省二二〇 吉林省五〇 熱河省一〇、黒龍江省一二 北滿特別區六〇、新京特別市六〇 職員を加へて總數四百六十九名で一行は五月五日新京に集合、六日午前九時から十一時まで公學校で結盟式および御親謁を受ける豫行演習、七日午前十時宮内府前廣場で結盟式、八日南嶺中央氣象台、無電局その他を見學、九日午前八時から新京公學校で觀兵式の豫行演習、終つて日本大使館その他を訪問、午後一時三十分から西廣場小學校に於ける日滿スカウト交驩會に臨み十日午前十時から觀兵式に參加、同日解散の豫定である

『夢禪茶語』「八」
大正寺詰 甲斐布教師稿

『ヤレヤレ』
溜息が漏れます、一同いい面の皮です、
『諸君！だが悲觀し給ふな！』
今度は人間禮讃とでも出るつもりかな…
『前には『人間馬鹿』と皮肉つて見たが考へて見ると赤反面とても可愛い所も有るやうです…』
サア來ました、彼三寸の舌…正に活殺自在です、
『上げたり下げたりするな！』
云はずに居れない言葉です、一同笑ひ顔です、
『哲人！ヤレヤレ』
『なんと…云はれても』…一同觀念したと見ゑます、哲人の『皮肉』には怒れない眞理が有る、聽衆『イタシ』『カユシ』です、
『血肉を分けた親と子…犬だつたら…一切れの肉を中心にして奪ひ合ひます醜い顔して、ウナリ合つて……之が人間だつたら…親は子の爲めに口中に含んだ一粒の飯でも讓るだらう！例へ自分は如何に飢へている時でも……玆だよ！人間の可愛い所は…
哲人さすがにうまい！
母が子に注ぐ細い而も温い愛情！我を忘れて!!
絶對愛です！慈悲心です！
心の奥の何處にか『生きる爲めには！』トコトンまで戰ふ！と云ふ野獸的な本能欲求を藏しながら人間なるが故に其の毒爪を容易に露さない…面白い動物です…ハハ…
自ら笑ふ哲人！自らも其の一人だと告白するかのやうに…
『如何なる悪人も一滴の涙位は持つている、悔悟する良心を備へている…惜めないです、人間は…
彼は別界の何ものかの鬮がする、彼も人なり吾も人なり、彼の眞意果して奈邊に存するのか…
『悪いこと』と知り乍ら…
『でも世渡りの爲めよ』…
『でも生きなければならない故』…と人間は云ふ！
其が現今地上生存者の赤裸々な告白です、
蛇は無爲に蛙を征服するのでない、そうしなければ『生きて行けない！』からだ
人間が營利の爲めに心にもない御世辭や虚言を『生きゝ行く爲め！』に强いてそうさせられると同一です
『哲人は蛇の味方か！』
東部席から[illegible]たしました、
『否！僕は只現實相の一例に蛇と蛙を引用したのみ誤解なく頼む！』
『現實を否定するか！』
今度は西部席から喰つて掛ります、
『否！現實は嚴然と吾等の眼前に展開している之の現實を否定することは出來ない、
哲人前後に敵を控えた形です
『彼の舌力如何に血路を切り開き得るや？
現實主義は虚無主義！發神主義！だと否定したではないか!!
追窮仲々に急です、

國体擁護聯合會が 參加取消運動
代表三名陸相とも會見説明

〔東京國通〕國體擁護聯合會では極東大會問題形勢惡化のため二十四日緊急會議を開き各團體一致協力して蹶起するに決し代表三名は四時半林陸相を訪問し事情を説明した、之に對し陸相は愼重に考慮して善處する積りだと述べた、更に一同は重光次官を訪問又他の六名は日本體協本部を訪ひ單獨出場取消し方を勸告した

体協の態度に 些かの明朗なし
明大体育會不參加を聲明
文理大も近く態度を決せん

〔東京國通〕明大体育會は廿四日選手不出場を決議すると共に

大日本体協の今度の處置に聊かの明朗なきを遺憾に思ひ此處に各選手の不參加を聲明す

との聲明書を發表した、同大學木下總長も体育會の決議を當然だと承認した、一方明大の聲明に刺戟された文理大体育會でも此の際態度を何れかに決すべく廿五日緊急協議會を開く事になつたが吉岡隆德選手も不參加になるものと見られてゐる

明大聯合協議會 決議

〔東京國通〕西田選手の辭退に口火を切られた極東競技の動揺は益々擴大深刻化する形勢であつたが、先づ明治大學では廿四日午後三時から各体育會並に有志の聯合協議會を開き、協議の結果明大より選出されてゐる各選手は今回の極東大會に全部出場せしめざる事を決議し、各選手が母校体育會の決議に基いて自發的に考慮せられんことを希望してゐる、明大所屬關係選手としては參加するは差支へないとなしゐるものもあり選手全体として如何に進退するか注目されてゐる

母校の不參加決議を手交された 明大選手は參加表明

〔大阪國通〕明大体育會の極東大會不參加決議を携行した秋山、中島兩氏は二十五日午前八時甲子園ホテルに到着、同ホテル選手合宿所を訪問し沖田ヘツドコーチを始め吉住朝隈 各島、牟田口、河津、石原田の名選手等明大關係の選手と會見し決議文を手交約二時間に亘り意見の交換を行つたが明大選手一同の意向としては母校体育會の決議如何にかゝはらず一旦全日本の要望を擔つて代表選手として東京を出發した以上体協の方針に從ふを妥當とし二十九日神戸出帆の日迄は正式の練習を繼續する旨を表明した 然し母校の不參加決議は選手各個人には相當强いショックを與へ一抹の動揺の色を見せ今後の不參加問題の進展如何では憂慮すべき事態を醸成する虞れあり成行は注視されてゐる

立命館の 市原選手歸校

〔大阪國通〕甲子園スポーツマン、ホテル合宿で練習中であつた極東代表陸上競技の立命館大學市原正雄選手は二十五日午前突如母校運動部からの歸校命令に接し正午ホテル發京都に向つたが同君の歸校につき監督は豫定の行動であるから一兩日中にはホテルに歸還すると語つて居るが、不參加空氣の濃厚となつた折柄同僚選手は頗る注目してゐる

不參加決議を 甲子園を訪ひ二團体手交

〔大阪國通〕愛國政治同盟近畿聯合會藤岡代表、日本産業軍闘西本部山本理事の兩氏は本日正午甲子園に沖田コーチを訪問、マニラ極東大會參加絶對反對の決議文を手交、二十七日正午までに回答を求め

昨朝の濁水騒ぎ 鐵管取替から

二十五日朝又も新京水道異狀で一しきり濁水に塵芥さへ交へて驚かしたが、これは鐵管の取替工事のため、暫らく使用されなかつた舊鐵管を取出して間に合せたためで、約一時間にして復舊、なほ右鐵管の取替へ工事も二十五日夕刻には全部終了のはずである

本社扱ひ 忠靈塔建設寄附金
四千圓を突破
各方面からの淨財寄附申出に
關東軍將士も感激

忠靈塔寄附金、二十五日本社で受託したものは日清マッチ吉林マッチの兩社各金五十圓を筆頭に朝鮮の咸北富寧、咸南洪原、江原の襄陽、同春川の各鄕軍分會長、鳥取の米子中學、黒龍江省木蘭縣公署大連臥龍台の船ッ氏、新京の滿鐵販賣事務所鐵道事務所、撫順の消費組合、新京の衛戍病院、日本橋通二五ノ二柳澤靜江氏、新京飲食店組合等々各方面の篤志家の醵出で此小計三百二十九圓〇九錢累計四千二百二十三圓六十二錢となつた

極東大會を解消し
アジア、オリムピックを開催せよ
＝アジア民族聯盟協議せん＝

〔大連國通〕極東大會に滿洲國の參加が拒まれたに拘らず日本體協が欣然參加を表明した事は我が國策を無視したものとして體協に對する非難の烽火が各地に擧りつつあるに對しアジア民族聯盟では本問題を再び取上げて檢討する事となり二十六日午後七時より在連官民各民族主義團體代表者の參集を求め、かゝる非民族主義的オリムピック大會は速かに解消し新しくアジア、オリムピック大會の開催を協議する筈である

文理大体育會先輩も
同校出身選手に考慮を促す

〔東京國通〕文理科大學体育會先輩及ひ在校生有志四十六名は二十四日午後五時から小石川茗溪會館で會議を開き極東大會參加問題を議決した結果、先づ出席者全員を以て愛國体育團を結成した後文理大出身選手に對し次の電報を發する事を決議した

母校先輩在學有志により結成されたる愛國体育團四十六名は愼重審議の結果純粹スポーツの立場より既に明朗性を缺く極東大會に出場の意義を認めず、此の際切に貴下の熟慮を望む

右電報は甲子園合宿中の吉岡、佐々木 淺川、菊本、藤田金木、梅田 福井、鶴岡の九氏に二十五日朝發せられたが之を接受せる選手の態度は注目されて居る

砲丸投の 高田選手も 不參加

〔東京國通〕砲丸投の第一人者廣島青年高田靜雄選手は極東大會への態度決定を先輩某氏に一任したため右某氏は二十四日上京日滿兩体協の主張並ひに經過を聽取した結果、參加すべからずとの結論に達しこの旨二十五日朝高田選手宛打電したので從つて同選手の不參加も確定的と觀られて居る

滿鮮競技 招請に
滿洲体協會 不出場

朝鮮体協では滿洲國の極東大會出場不可能に痛く同情し一方鮮滿スポーツ界の向上を圖るため鮮滿オリンピック大會を開催したき意向を有し去る十八日、廿三日の再度に亘つて滿洲國体協宛『鮮滿オリンピックを開催し度し』と打電し來つたが 滿洲國体協では四圍の情勢よりみて、鮮滿大會は特に此際政治的に面白からざる結果を招く虞れありと爲し、右招請電に對し廿四日

『滿鮮オリンピック開催の件は當協會に於ては、その豫算なく、且つ慶祝大典大運動會を控へ到底實行し難き事情あるにつき貴意に添ひ難し』

との旨の返電を發し鮮滿オリンピック大會に出場不可能の意を示したが本二十五日更に左の如き招請に應じ得ざる事情を打電した

貴協會が弊協會極東參加に關し終始御同情を賜りたることに對しては萬腔の謝意を表すところなり今回貴協會より鮮滿オリンピック大會開催の御計畫も此の御同情の發露と確信するも極東大會問題が日滿間に未だ解決せざるため世上稍々もすればその眞意を誤報する傾きあり、よつて本問題の解決後改めて御厚意に對し何分の打合せしたし

田淵豊吉氏 昨日釋放さる
文化協會の佐藤氏が引受

目まぐるしい日本の政界から今は尾羽打枯らしいつの間にか海を渡つて

＝渡滿＝し、昨年十二月十七日より新京滿洲屋旅館に投宿、鳴かず飛ばずの三ヶ月餘りを送つてみた往年の名物男代議士仙人こと田淵豊吉老はこの間積り積つた宿泊料九百五十九圓卅一錢也の不拂で滿洲屋旅館から告訴され遂に留置場入りの醜体まで演じ領事館警察署の御厄介になつてゐたが、去る二十三日田淵氏と同窓であつた大連文化協會の佐藤四郎氏か『萬事引受けるから釋放してくれ』と領事館警察署を訪問し萬事解決をみたので田淵老は同日午後四時一先づ釋放された、係官の語るところによれば、田淵老は相も變らず風變りなせりふで『二三日靜養したら大連に行き林總裁に直接談判してやる』と豪語したとのことでそれでも流石にシャバの風は懷しさうに出て行つたとのことである尚同氏は

＝目下＝ 友人に當る滿洲國官吏錦町三丁目佐藤某氏宅に靜養中である

露人ギャング 逮捕

〔ハルビン國通〕當地憲兵分隊では昨年十一月三十日ソ聯國籍シャラボフを拳銃で射殺九百金ルーヴルを强奪逃走した露人ギャングを捜査中の處三月二十三日當地ナハヲカに於て主犯アンドレピラワロナフ（三八）フドコロモフグリコフ（二四）を逮捕した

祝賀會申込 二十七日限り

軍官民合同の天長節祝賀會は既報の通り當日午前十一時から西廣場小學校講堂で開催されることになつてゐるが申込は二十七日限りで地方事務所庶務係又は各區長あてなるべく至急申出でられたいと、會費は五十錢

南支への旅（九）
新京高女修學旅行團

最後に案内されたのは漢藥となる動植物を集めた部屋だつた朝鮮人蔘ジャ香等滿洲産が多くていさゝか肩身が廣くなつた、けれどもやはり四川省が漢藥の本滿であると聞かされて一寸悲觀した廣東ショウガの大きいのには驚かされる

×

氣持の惡い鹿の爪 虎の目、膝骨等も藥になるとはインチキ流行の今の世に相應しい氣がする、薄暗いが實に完備した講堂に案内されて主事から丁重な挨拶をいたゞき研究所の由來組織構造等に關するお話を拜聽する、その後晝食を攝るために後庭に出た、春の香をこめた芝生の上に疲れた重い體を存分に横たへ辰巳屋からわざわざ女中等の運んでくれたお辨當をひらいた、香高いお茶を汲んでは乾いた咽喉をうるほして、おいしい辨當を飢ゑた腹につめこんだ一時過ぎ研究所を後に自動車は佛蘭西租界を走る

靜かな住宅街だ、廣い庭にとりまかれてスッキリとした洋館が立ち並んでゐる、何の國の兵隊さんかへんてこな大黒頭巾を眞面目にかぶり歩調をとりながら、私達の自動車をいぶかしげに見つめてゐた

大馬路を通り抜けてバンドに突當ると黄浦江を背景にして高さ四丈もある平和記念塔が立つてゐる

×

これは世界大戰を記念する塔で共同租界と佛蘭西租界との境をもなしてゐるのだ

自動車は再び久しく待ち設けてゐた繁華な南京路に出る、流石は上海第一の通りだ、東西の豆商達が、きらびやかに店頭を飾り立てゝ客を呼んでゐる、ショウインドウにはこの春のア、ラ、モードであらうか、帽子、洋服、靴等が意匠をこらして飾付けられてゐる

×

舗道を濶歩する老若男女は、何れも春の尖端を歩んで行く支那婦人の派手な衣裝西洋人の思ひ切つた御線美日本乙女のおたいこ結ひ、雅趣ある着物等四十三箇國人が各自思ひ々々の服裝で通るのだ、上海は世界人種の展覽會場だとは虚言のやうな眞實である、晝でさへ華やかなこの街は、ネオンサインや電燈に色どられる春宵には特にすごいものがあらうと想像する

自動車、人力車が目まぐるしく往來する、この光景を窓から眺めるだけでも、私達の眼はとても、一通の骨折ではない、やがて上海唯一のデパート、永安公司についた、バスはこれでおさらば、金票の下落で何を見ても買ふ氣になれず、あはたゞしく店内一週してバンドを歩む

×

洋々なる黄浦江を眼下に見下して儼然と聳え立つ數百の大厦高樓は、皆世界各國の金融機關を代表する建物だ、この良きヒンターランドをひかへ碼頭には木小船舶をはじめ各國の軍艦が織るが如く往來し汽笛の音も、煙突から勇しく吐かれる黒煙も往來する人の群、自動車馬車人力車等の混雜も一として商港大上海を表徴せぬものはあるまい

バンドを背景にして一同記念撮影をする、芝生に休憩の後徒歩にて、正二時に宿に歸りつく

午後は買物の最後日だとて先生方が御苦心の結果生み出された貴重な時間を與へられる有効に使用するしないは私等の責任だ、暫く体を休めて早速高女の方に案内せられてお買物に出掛けた

×

十一時京扈線の客となり南京に向ふ、板張の座席なのであちこちから悲鳴が上る、腫物に障る氣持で、腰を下し、背眠りによつて疼痛を忘れやうと努めてゐたしんしんと夜の更け行くにつれて、互に交す私語もいつしか消ゑる車窓からは黒い魔物の吐く太い吐息のみが[illegible]聞ゑて來る（[illegible]

愈よ開演した 映畫スター連
藝題は毎夜替る

酒井米子を中心に光岡龍三郎葛木香一、久米讓その他數十名の映畫俳優實演隊の一行は豫定の通り二十五日朝七時着列車で來京出迎者に擁せられ劇當の宿舍に入り、愈々同夜を初日に長春座で華々しく開演した、藝題は毎夜替りで三晩だけの興行、初日は「唐人お吉」「嫁と姑」「修羅八荒の江戸節お駒」二日目は「春三景女白浪」「風流船八劍」「[illegible]糸」三日目「お誂次郎吉格子」「お富さんげ血櫛」「花の東京」等で何れも一行十八番とするところの名藝題をすぐつて上場するといふから好劇家をよろこばすことであらう、なほ劇場の都合で絶對に日のべ出來ぬやうになつてゐるからたまたま來たこの映畫スター連の實演は見のがせぬものであらう

日本の聖女

（上演上映）

生田葵

南部龍平畫

九四

女盗賊（四）

體つきらしく思はれる二巾の腰まきをしてゐるので、何らの職業を演ずることもなく、今の先に湯から上つてみがかれた足の爪先から腰まきで包まれた胴體を中心にして、胸のあたりまでが、すつきりと白く、人形の着物をぬがしたやうに顯はれた。

盗まれた中婆あにしても、番頭にしても、それから湯屋の主人も二人の役人も、紛失したものがあらはれてでると思つた期待が裏切られたのですこしはてれたかたちでお互の眼と眼を見合せた。

さうして、何と其の帯を取締ふ言葉を出していゝものやらと、一瞬、重苦しい氣分が其處へとにじみでた。

「私何もやつてやしません。も

いきな女が既に襲ひ終へた帯の一ケ所をぐつとつかみ。」

「此處ですよ」

と絶叫した。

小いきな女は、中婆のその手を振り放そうとして、身體をひいたが、その時は役人二人が左右から寄つて行つて、中婆の代りに帯を改めた。

さうして、若い方の役人が帯の間へ手を差しいれたと思ふと、もうその手には財布がひきだされて居た。

「この財布か？」

「若い町役人は、中婆さんにきいた。

「えい、さうです。中には二兩二分と二朱御座います」

中婆は勇み切つてゐたにも係らず小いきな女は顔色もかへず恰も人ごとのやうに悠々として帯を結び終ると、」

帯をしめてもいゝでせう」

小いきな女の唇邊には、自嘲のやうた眼は相手を嘲笑するとも見えるあるかないか程の微笑がたゞよつて居た。

「よろしい」

年配の役人はうなづいた。

小いきな女は早く着物の裾を搔き合し、腰ひだをとると、細帯を結ひ上げてまき初めた。

それが済むと今度はしきり戸だなに置いた黒繻子の帯をひき出して、大膽に身體を動かしながら腰ひだしたのであつたが、その時金を盗まれた中婆はつと小いきな女の方へと寄つてゆき、今一まきですつかりと腰にまき附き終る黒繻子帯の一端をおさへた。

「此の帯の今まきつけはつたとこに、錢が出來ます、そうして其處がふくれてますさかい見ておくれやす」

金切り聲を擧げた。

役人二人は眼に止まらなかつたと見え、直ぐ手を下そうとせぬと中婆自身は更に手をのばして、小

「小母さん、お金が、歸つてうれしいかい、盗人は、何處にでもゐるんだからに、氣をおつけな、おほゝゝ」

顔色をかへなへばかりではないむしろ小氣味いゝほどの齒切れのいゝ言葉がにつこと笑つた唇から出た。

「太い女だ」

若い方の町役人は怒鳴りつけてぐつと小いきな女の手をとると、年配の方の町役人は、懷中にひそめた捕繩を取出した。

「お前さん達お役人、來いとお云ひなら何處へでも行つて上げるから、そんな繩を女にかけるなんておよしなさいよ。見つともなくて表を歩けないぢやないか」

小いきな女は、捕繩をさばいた年配の役人にぞんざいな口を利くと、若い方の役人にとられた手をついとふり放して一足後へ飛びのいた。

と思ふともうてのひらには何時から抜いたか[illegible]い星の銀かんざしを逆手ににぎつてゐた。